

地方史情報

095
2010年2月

近代日本公文書管理制度史料集

中野目 徹

本書は、明治維新以降の近代から現代に至る間の、我が国の中央行政機関における公文書管理制度に関する法令・規則類を、原則として現行のものを除き網羅的に収集・翻刻した史料集である。(中略)

明治維新以来、太政官・内閣あるいは府省ごとに制定・運用されてきた公文書管理制度の総体を把握すべく、それに関する史料を網羅的に収集・翻刻することを目指し、編集作業を進めてきた。歴史学の各分野、政治史や法制史の従来の諸研究が公文書を利用する場合、当該の簿冊(ファイル)がいつ制定された、いかなる文書管理規程あるいは記録編纂規程によって作成・編纂された文書群(シリーズ)のなかの一冊なのかということを理解し、その内容が解釈されることは少なかったように思われる。そこで、歴史研究で公文書を史料として用いようとする際に基本となる史料集を整備し、研究水準のさらなる向上を促すこと、これが本書刊行の第一の目的である。

(中略) アーカイブズ学の分野では、日々発生し蓄積されていく情報のうち、何が永久保存価値を有するのかを判断するための共通認識の構築と選別基準モデルの策定が重要な研究領域とされている。そのためには、記録管理史とも呼ばれているような、公文書に関していえば、過去における公文書管理の経緯を明らかにし、そこから各組織の文書作成から保存に至る特質を探り出す作業が必要となるが、これまで、そういった作業の基礎となる中央行政機関の公文書管理制度に関する法令・規則を概観するための史料集の編纂はなされてこなかった。そのようなアーカイブズ学の要請に応えること、これが本書刊行の第二の目的である。

偶然とはいえ、時あたかも「公文書管理法」制定という大改革に際会している現在、我が国の中央行政機関における既往の公文書管理の実態を知り、今後のありうべき公文書管理行政のかたちを模索していく上で、本書の刊行はまさに時宜を得たものと密かに自負しているところである。行政各部における公文書管理の担当者、あるいは公文書館等の施設で歴史公文書の評価・保存・利用に関わっている専門職員が、その職務の遂行にあたって多様な情報を引き出すことができる執務参考書の提示、これが本書刊行の第三の目的である。

(中野目・熊本編『近代日本公文書管理制度史料集
中央行政機関編』、2009.10、小社刊「序」より)

地方史研究雑誌目次速報 飯澤文夫 編

*本誌に掲載した雑誌に関するお問い合わせは、発行元に直接お願いします。

北海道・東北

◆**空知地方史研究** 空知地方史研究協議会
〒079-1374北海道芦別市上芦別町94-181
TEL01242-2-1621
◇**42** 2009.3 B5 91p
平成19年度総会・研究会について 相良 主彦
平成20年度総会・研究会について 相良 主彦
由仁町山形団体北海道移住関係資料について 遠藤 龍畝
「鮮人共同墓之碑」のこと 杉山 四郎
戦時下の赤平各炭鉱の開坑状況と外国労働 相良 主彦
空知アイヌと平田角平氏 河野 敏昭
由仁町古山遺跡第5地点出土の石棒資料について 遠藤 龍畝
新刊された空知地方の史誌紹介(平成19年度) 畠中 博
新刊された空知地方の史誌紹介(平成20年度) 畠中 博
〈空知地方史研究協議会43年のあゆみ〉
空知地方史研究協議会の栄光の足跡「永遠」に 中野 尚幸
歴代会長の記録
初代会長 共野外吉(昭和42年～51年) 野村 崇
2代目会長 川野栄三郎(昭和52年) 野村 崇
3代目会長 細谷徹之助(昭和53年～60年) 村上 修
4代目会長 伊藤兼平(昭和61年

～平成9年) 杉山 四郎
5代目会長 安井幸雄(平成10年～15年) 相良 主彦
6代目会長 中野尚幸(平成16年～21年) 畠中 博
会員の思い出
佐藤甚之助さんについて 成瀬 健太
会での思い出 畠中 博
知識の源泉 杉山 四郎
野武士の如く、一人ひとりがいぶし銀のように 間嶋 勉
空知の研究所の存在の当協議会の解散を惜しむ 相良 主彦
入会そして解散 成瀬 健太
解散に想いを馳せて 村上 修
「空知地方史研究」最終号に寄せて 小林 英輔
カウントダウン 岡田 齊
空知地方史研究協議会
お世話になりました 関川 修司
『空知地方史研究』の編集とわたし—会を閉じるに際しての弁 野村 崇
人と人との絆で歩んだ43年 卜部 信臣
空知地方史研究協議会研究大会の足跡
空知地方史研究協議会刊行書一覧／空知地方史研究(創刊号～42号) 総目次
◆**文化情報** 北海道文化財保護協会
〒060-0002札幌市中央区北二条西7丁目
かでの2・7ビル9階 TEL011-231-4111

www.l0.ocn.ne.jp/~bunkazai/
◇**313** 2009.5 B4 4p
アーカイブズが広がる
—札幌市の公文書館構想 鈴江 英一
やきものと煉瓦のまち江別
文化財めぐりのために 石垣 秀人
柳宗悦 朝鮮民芸の底流 舟山 廣治
21年度の活動方針などを了承 4
月24日、第一回役員会を開催
解体問題に揺れる立て坑やぐら 伊佐治知子
博物館物語(3) 北斗市 男爵資料館 “男爵いも” って!? 大村 弘子
こども考古学教室も開催 道立埋蔵文化財センター平成21年度の行事
考古学から見た「市町村史」 大谷 敏三
各団体の活動(3) NPO法人炭鉱の記憶推進事業団 空知に炭鉱があった時代に 植村 真美
開拓使お雇い エドウィン・ダン—札幌での仕事と生活 編・解説 田辺安一／松平農場史—北の大地の華族農場
◆**うそり** 下北の歴史と文化を語る会
〒035-0076 青森県むつ市旭町13-48
相馬方 TEL0175-24-3262 年2000円
◇**45** 2009.3 A5 234p 1800円
下北半島の滝—写真と文 瀬川 威
下北の考古学史
—先人の足跡を尋ねて 村越 潔
史料が語る 斗南に移転した会津人の実相(2)—神谷きを(旧姓北村)の『口述』から 葛西 富夫
北前船の足跡—脇野沢村佐渡屋川岸家文書からの視座(1) 新造船(弁財船)の経緯 高松 敬吉
「遊浴日記」の民俗的意義について

高松 敬吉
昭和下北歳時記(4) 小川 洋一
先祖を探し求めて 遠藤 雪夫
断片史料 尻矢海軍望楼について 長内 誠一
鶴ヶ崎順法寺城に関する考察 新松 文明
東北太平記と興良親王北部王説 澁谷 聰志
◆**東奥文化** 青森県文化財保護協会
〒030-0111青森市荒川字藤戸119-7
青森県立図書館内 年3000円
◇**80** 2009.3 A5 149p
グラフィア
平成20年度青森県文化財保護行政について 青森県教育委員会
縄文遺跡の世界文化遺産登録への道 岡田 康博
辛亥革命の助力者・山田良政の妻としての開放—教養は知、過信はミステリーを招く 高屋 豪瑩
史跡津軽氏城跡 堀越城跡の調査概要 岩井 浩介
津軽藩の東照宮寄進石燈籠と震災修葺石垣—日光東照宮と上野東照宮を中心に 山谷 金也
旧館村普門院の遺構とその規模 滝尻 善英
三本木開拓 穴堰功者の吉助 伊藤 一允
下北郡・佐井村「金丸家文書」にみる俵物生産の推移 飯田 美苗
明治天皇の奥羽巡幸と青森での天覧授業 福士 光俊
事務局だより 再スタートの総会／岩手県(盛岡)研修報告
◆**弘前大学国史研究** 弘前大学国史研究会
〒036-8560青森県弘前市文京町1
弘前大学人文学部日本史研究室内
◇**126** 2009.3 B5 68p

民族衝突の記憶―「津軽一統志」
 巻第10収載の寛文蝦夷蜂起関連
 資料と叙述の継承 市毛 幹幸
 津軽信政の修史事業と「東日記」
 の成立―岩見文庫本と高屋家旧
 蔵本の比較研究 工藤 大輔
 史料紹介 八戸市立図書館蔵
 「盛岡御城江御立寄并聖寿寺御
 仏詣一件」 高橋 博
 書評と紹介
 榎森進・小口雅史・澤登寛聡編
 『アイヌ文化の成立と変容―
 交易と交流を中心として 上
 エミシ・エゾ・アイヌ』 吉田 敏
 長谷川成一監修 浪川健治・河
 西英通編『地域ネットワーク
 と社会変容―創造される歴史
 像―』 小石川 透
 本田伸著『シリーズ藩物語 弘
 前藩』 福井 敏隆
 八戸市史編纂委員会編『新編八
 戸市史 近現代資料編Ⅱ』 竹村 俊哉

◆いわて文化財 岩手県文化財愛護協会
 〒020-0102盛岡市上田字松屋敷34
 岩手県立博物館内 TEL019-661-9688

◇231 2009.5 B5 8p
 「平泉の文化遺産」と無形遺産 中村 英俊
 地域社会再生への視点 船越 昭治
 一万三千年前の“お宝” 熊谷 常正
 夏井大梵天神楽の伝承 播磨 孝則
 地域に育まれる大神楽 堀合 俊郎
 県立博物館の課題と方向 菊池 慧
 故久慈次郎選手の功績を偲ぶ 一戸 秀光

◆ホツマ ホツマ研究会
 〒020-0026岩手県盛岡市開運橋通3-35-201
 TEL019-653-5554 年2000円

◇61 2009.4 A5 8p
 私流の古代史研究について 吉田 豊耀
 幻のホツマ文字神璽発見の旅 熊谷 達雄
 鎬邦男先生追悼の旅
 『御朱印帳』からの雑感 小川 蒼秀

◆キリスト教文化研究所研究年報
 宮城学院女子大学キリスト教文化研究所
 〒981-0961仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1
 TEL022-277-6210
 ◇42 2009.3 A5 120+56p (抄)
 義経蝦夷渡り伝説の地方的展開―
 三厩の観世音縁起をめぐる 菊池 勇夫
 長崎校外研修旅行を通して平和に
 ついて考える―宮城学院中学校
 三年次における平和学習の取り
 組みから 丸山 仁
 〈すらり〉書くということ―『星よ
 り来れる者』と『田舎の花』 九里 順子
 吉野作造と富永徳磨

―知られざる交友と共鳴 今高 義也
 モンタノス運動の再評価 新免 貢
 戦時下におけるキリスト教主義学
 校の態度決定―1940(昭和15)年
 基督教教育同盟会校長会におけ
 る申し合わせ 大迫 章史

◆道鏡を守る会通信 道鏡を守る会
 〒989-6156宮城県大崎市古川西館3-4-35
 本田義幾方 TEL0229-22-7364 年3000円

◇81 2009.4 B5 8p
 道鏡禅師供養祭しめやかに催行さ
 れる／宿曜占文抄より道鏡の部
 分／現大田原市寒井の三島神社
 のいわれ／聖武のねらっていた
 ことをもって／道祖神≠道鏡で
 道祖神＝道鏡さまに関して
 隠れ添乗員「未病を治す」(日野

原正)／天下の仇討事件・茂木
 に風が吹く(吉村光右)

◆東北宗教学 東北大学宗教学研究室
 〒980-8576仙台市青葉区川内27-1 東北大
 学大学院文学研究科 TEL022-795-6022
 ◇4 2008.12 A5 201p (抄)
 特別寄稿 東北大学文学部、宗教
 学宗教史研究室での歩み 楠 正弘
 宗教者から非宗教者へ―〈宗教性
 を有するモノ〉の継承と意味の
 創出 大道 晴香
 アジア・太平洋戦争下の「日本基
 督教」―伝道活動を中心に 川口 葉子
 翻訳 戦前日本における仏教的物
 質文化、〈インド趣味〉、および
 汎アジア仏教の形成
 リチャード・ジャフィ／
 原健真／オリオン・クラウドウ

◆東北文化研究室紀要
 〒980-0862仙台市青葉区川内
 東北大学大学院文学研究科
 ◇50 2009.3 B5 138p
 幕末平田国学と秋田藩―文久期に
 おける平田延太郎(延胤)の活動
 を中心に 天野 真志
 松森胤保『止戈小議』考
 ―序説・附翻刻 梶沼 彩子
 『東北文化研究室紀要』目録(創刊
 号～第50集) 付・著者別索引
 現代日本の不公平感―「仙台高校
 生調査」における20年の変化 海野 道郎
 北上川流域縄文時代中期から後記
 における土器の器形変化と地域
 性に関する研究 菅野 智則
 霊験譚の語りと信者―『善宝寺龍
 王講だより』の事例より 阿部 友紀

秋田県の言語調査報告
 中西太郎／田附敏尚／内間早俊
 方言形成と意味変化
 ―「スガリ」を例として 澤村 美幸

◆歴史 東北史学会
 〒980-0862仙台市青葉区川内 東北大学文
 学部 日本史研究室 TEL022-217-6064
 年4000円
 www.sal.tohoku.ac.jp/nihonshi/t-shigakukai/
 ◇112 2009.4 A5 158+26p 2100円 (抄)
 会津若松市田村山古墳出土の八花
 文内行花文鏡―摩滅破鏡の漢鏡
 編年への位置づけについて 木本 元治
 江戸幕府証人制度の運用にみる幕
 藩関係の展開 兼平 賢治
 俵物増産と海士集団の出漁―佐渡
 国海士町海士を事例として 高橋 美貴
 近世墓標に現れた自己意識―松前
 藩の事例分析に基づいて 関根 達人
 書 評
 寺崎保広著『古代日本の都城と
 木簡』 吉田 敏
 岡田清一著『鎌倉幕府と東国』 菊池 紳一
 堀田幸義著『近世武家の「個」と
 社会 身分格式と名前に見る
 社会像』 J.F.モリス

◆鷹巣地方史研究 鷹巣地方史研究会
 〒018-3302秋田県北秋田市栄字前綱101-2
 河田正治方 TEL0186-62-0242 2000円
 ◇64 2009.4 A4 68p 1000円
 米代川戊辰戦争と北秋田地区 太田 實
 兵学者でもあった宮野尹賀―佐々
 木兵一氏収集資料から新資料・
 ほか 千葉 克一
 国重要文化財指定となる胡桃館遺
 跡とその謎 嶺脇 勉

向様田D遺跡出土の貝輪を模倣し
た土製腕輪 細田 昌史
菅江真澄の歩いた道の地名を考察
す 清水 修智
歴史教室 伊勢堂岱遺跡と文化遺
産について 佐藤喜美男
史談会 鷹巣を通った人々
—江戸から明治にかけて 伊藤 徳治
現地研修 鹿角史跡探訪 河田 正治
靖国神社の境内に憲兵碑の建立に
ついて 相馬 文夫
あぜ道運動会で育った子たち—複
々式教育の黒沢小の思い出 嶺脇シズエ
師 千刈青坡先生を語る 藤嶋まさと
胡桃館遺跡出土品が重要文化財に
！ 編集部

◆季刊東北学

東北芸術工科大学東北文化研究センター
(発売：柏書房) 〒990-9530山形県山形市
上桜田3-4-5 TEL023-627-2168 年10000円
www.tuad.ac.jp/tobunken/

◇19 2009.5 A5 230p 2000円 (抄)

《特集

東北の原像—縄文から弥生・続縄文へ》
座談会 縄文から弥生移行期の東
北の社会と文化—亀ヶ岡式土器
と水田稲作のネットワーク
藤沼邦彦／斎野裕彦／安斎正人
縄文の祭りを継ぐ—アイヌ儀礼か
ら読み解く縄文～続縄文の構造
変動 瀬川 拓郎
「変動期東北北部」の歴史世界 高瀬 克範
東北中部の変動—土器・墓制・集
落・遺跡分布からみて 佐藤 祐輔
北陸・南東北の変動期
—弥生集落の成立状況 石川日出志
弥生開始期の社会変動

—東海・関東地方の場合 設楽 博己
東北アジア新石器的世界の構造変
動—極東ロシアと日本列島の比
較文化論 福田 正宏
縄文から弥生変動期の自然環境の
変化と植物利用 佐々木由香
龍の形象と縄文土器
—夔龍文の伝播について 谷川 健一
日本民間信仰史研究序説(15)
ケガレとキヨメ 谷川 健一
人間学としての考古学(6)
“日本人”の祖先 安斎 正人
絵はがきに見る東北日本・アジア
(4) 炭鉱の風景と思い出

東北文化センター
置き去りにされた美学(時評) 田口 洋美
生きづらさからの始まり(書評) 森 繁哉
相模の民俗に映る地域の姿(書評)

岸本 誠司
連載・写真曼荼羅(2)
出羽三山の版本 内藤 正敏

◆東北芸術工科大学東北文化研究センター 研究紀要

〒990-9530山形市上桜田3-4-5 TEL023-627-
2168 http://www.tuad.ac.jp/tobunken/

◇8 2009.3 A4 200+37p

縄紋社会の退役狩猟者 安斎 正人
「伝染病予防法」の制定とその背景
竹原 万雄
青森・岩手におけるノウガミ信仰
川合 正裕
山形とサトイモ 井筒 桃子
築港の社会史—野蒜築港をめぐつ
て 西脇 千瀬
アイヌの口承文芸に語られるイナ
ウ—本州以南の割りかけとの比
較の視点から 今石みぎわ

◆まんだら 東北文化友の会会報

東北芸術工科大学東北文化研究センター
〒990-9530山形市上桜田3-4-5
TEL023-627-2168 年10000円
www.tuad.ac.jp/tobunken/

◇39 2009.5 B5 64p

巻頭特集 地域と映像—松ヶ岡開
開墾場と庄内映画村 酒井天美／酒井忠順
平野克己／森繁哉
映画『湯の里ひじおり—学校のあ
る最後の1年』が誕生するまで
飯塚 俊男

映画『おくりびと』に寄せて
—納棺の儀式に込める思い 田中忠三郎
平成20年度東アジア藝術文化研究
所シンポジウム 東アジアの色
彩文化—日本・韓国・中国
芳賀徹／王敏／琴基淑／辻け
い／安斎正人／崔鐘錫／河本
真理／張大石／赤坂憲雄

東北ルネサンス・プロジェクト
in 仙台報告 赤坂憲雄対論「東
北・知の系譜」／小説家・ライ
ター講座／編集者講座
フィールドレポート

雪山でウサギを追う 松田 和之
極寒・北海道の旅 日塔真由子
伊良部島フィールドレポート 中川 恵
文学者たちの山形(19)
茂吉の恋と戦争 池上 冬樹
聞き書き・知られざる東北の技
(19) 闘牛を伝える松坂義雄さ
ん 野添 憲治
フィールド・ワークの現場から(7)
国境の島、対馬寸描 岸本 誠司
座談会 「秋田のイタヤ箕製作技
術」重要無形民俗文化財指定記
念座談会 オエダヲ箕を語る

田口召平／渡辺弥太郎／加藤鉄太郎
地域誌だより(12)

津軽のスゴミ 菊池 正浩
被災地取材の日々 滝沢真喜子
広瀬川河畔のタイムトンネル 千葉 由香
こども聞き書き報告会 菅家 博昭

関 東

◆茨城大学中世史研究

茨城大学中世史研究会
〒310-8512茨城県水戸市文京2-1-1
茨城大学人文学部 高橋修研究室
TEL029-228-8120

◇6 2009.3 B5 28p

院政期・鎌倉期の常陸国真壁氏と
その拠点 清水 亮
常陸大宮市の山城跡 調査概報(2)
高部城跡とその周辺 前川 辰徳
近世高部宿の形成と流通ネット
ワーク 高橋 裕文
書評 市村高男監修・茨城県立歴
史館編『中世東国の内海世界
霞ヶ浦・筑波山・利根川』

金子千秋／佐藤佑香／高橋修／
高橋裕文／額賀大輔／前川辰徳

「西塩子の回り舞台」組立て・公
演参加記 渡辺由貴子／長浜叔子
北関東中世史情報／古代・中世史
関係の提出論文／付図 高部城
跡とその周辺 現況調査図

◆史 境 歴史人類学会

〒305-8571茨城県つくば市天王台1-1-1
筑波大学大学院人文社会科学研究科内
TEL029-853-4403

◇58 2009.3 A5 150p 2000円 (抄)

講演 日本民俗学のフランス調査
—ブルターニュのバルドンとト

ロメニー 新谷 尚紀
 大分県の名主座について 藺部 寿樹
 経済攻究会覚書—大正後期における
 政策形成集団の組織と論理 下重 直樹
 書 評
 田沼睦著『中世後期社会と公田
 体制』 榎原 雅治
 新谷尚紀／関沢まゆみ／ドナシ
 アン・ローラン著『ブルター
 ニュのバルドン祭り—日本民
 俗学のフランス調査—』 前川 智子

◆長塚節の文学 長塚節研究会
 〒300-2707茨城県常総市本石下4639
 TEL0297-42-2003 年3000円
 ◇15 2009.4 A5 72p 1000円
 長塚節と横瀬夜雨の文学創造上の
 共通点と相違点における感情の
 働きについて 桐原 光明
 長塚節文学の芸術的評価について
 糸 正照
 竹籐の歌の古宿考 橋本 俊明
 子規・節・茂吉の「感情的写生歌」
 または「写生的主情歌」の継承
 —写生・感情・喩をめぐって
 (前) 松野 高尚
 鈴木大拙から読む『土』 安田 暁男
 節も越えた関山峠 河合 宏

◆歴史地理学野外研究 (旧調査報告)
 筑波大学人文社会科学部研究科 歴史・人類
 学専攻歴史地理学教室 〒305-8571茨城県
 つくば市天王台1-1-1 TEL029-853-4493
 ◇13 2009.3 B5 111p
 軍都都市横須賀の形成と土地所有
 の平成—横須賀下町地区を事例
 に 双木俊介／藤野翔
 近代浦賀における商家経営とその

変容—東浦賀・米穀問屋美川家
 を中心として 加藤 晴美
 江戸・東京市場への鮮魚供給機能
 からみた三浦郡松輪村の地域的
 特質とその変容 清水 克志
 廻船寄港地御手洗町の繁栄とその
 なごり—昭和20年代以前の景観
 と住民の暮らしの復元を通して
 清水 克志
 大崎下島御手洗における花街の景
 観と生活 加藤 晴美

◆歴史だより 栃木県歴史文化研究会会報
 〒320-0865宇都宮市陸町2-2
 栃木県立博物館内 TEL028-634-1313
 ◇71 2009.4 A4 4p
 《特集 近世下野の文化活動》
 下野文芸の息吹 竹末 広美
 下野国の地誌編纂と喜連川 泉 正人
 古文書・古典籍を読む(11)
 北条文太夫著「如在書」 小貫 隆久
 新刊紹介 塙静夫著『うつのみや
 歴史探訪 史跡案内九十九景』上野 修一

◆群馬文化 群馬県地域文化研究協議会
 〒371-0801前橋市文京町3-27-26 群馬県立
 文書館内 TEL027-221-2346 年4000円
 members.jcom.home.ne.jp/yctanaka/
 ◇298 2009.4 A5 92p
 随 想
 県史編さん事業への参加と私の
 農業史研究 田中 修
 地域史研究と私 和泉 清司
 『文月浅間記』の流布・出版過程
 —天明噴火物語研究序説 水村 暁人
 高崎工業学校設立の社会的背景に
 ついて 八木 啓次
 群馬県内のステンドグラスについて

て—大正から昭和初期の作品を
 中心にして 須長 泰一
 「水場」が創りだした景観を子や
 孫に 宮田裕紀枝
 文化財レポート 縄文時代後期称
 名寺式期の拠点集落—前橋市堤
 遺跡から発見された敷石住居村
 の発掘調査 巾 隆之
 博物館・美術館めぐり 日本の近
 代化の幕開け—富岡製糸場
 研究大会報告 平成20年度群馬県
 地域文化研究協議会研究大会の
 開催 小高 哲茂
 新刊紹介
 田中広明著『豪族のくらし—古
 墳時代～平安時代—』 関口 功一
 丑木幸男著『群馬県兵士の見た
 日露戦争』 江崎 哲史
 高橋敏著『江戸の教育力』 阿久津 聡

◆群馬歴史散歩 群馬歴史散歩の会
 〒379-2154群馬県前橋市天川大島町317-1
 TEL027-223-2785 年4500円
 ◇209 2009.5 A5 64p
 《特集 高崎市 (旧高崎市、旧群馬郡倉渕村・
 箕郷町・群馬町・榛名町、旧多野郡新町)》
 高崎城下町探訪—歴史と文化財／
 高崎城周辺の寺社／高崎市の主
 な史跡 特別史跡山上碑および
 古墳・金井沢碑、国指定史跡
 保渡田古墳群(八幡塚古墳)・日
 高遺跡 高崎市文化財保護課
 交通の要衝 高崎市 高崎市観光課
 高山彦九郎日記による歴史散歩
 (17) 『乙未の春旅』(6) 正田 喜久
 激動昭和に生きた人々(7)
 —東宮鐵男と板垣征四郎 東宮 春生
 薩摩での日秀上人について 大野 富次

日帰り温泉ぶらり旅(10) 京ヶ島
 天然温泉「湯都里」の巻 田口 正美
 絵手紙で歩く 上毛かるた(32) 小林 生子
 下川淵カルタ・アート展 加藤 鶴男
 済州島の旅 大崎 岸子

◆ねっと群文協
 群馬県市町村公文書等保存活用連絡協議会
 〒371-0801群馬県前橋市文京町3-27-26
 群馬県立文書館内 TEL027-221-2346
 ◇22 2009.3 A4 8p
 学校統廃合と教育資料 森田 秀策
 平成20年度総会の開催／「古文書
 等の保存管理状況に関するアン
 ケート」について

◆埼玉史談 埼玉県郷土文化会
 〒350-0231坂戸市泉町12-5 大圖口承方
 TEL049-281-4983 年4000円
 ◇297 (56-1) 2009.4 A5 54p
 続・鎌倉御家人宿屋氏の歴史—鎌
 倉に行時山光則寺を訪ねて 内野 勝裕
 続 丹党中村氏の墓の疑義につい
 て 栗原 一夫
 武州秩父雑話(4)—藤田家五代(2)
 大墅 鴻風
 追録 明治天皇幸手行在所と埼玉
 県への地方巡幸今昔 大熊 晋一
 上州南画界の先駆者
 続・柿沼山岳(洋羨) 原口 英雄
 天正18年前後の武蔵出身武士達の
 去就(2) 大圖 口承
 浦和本太観音堂と本尊聖観音につ
 いて 青木 健
 資料紹介 質屋と盗賊の末路 佐藤 繁
 大宮住吉神社御神楽に関する記録
 (下) 編集部

◆**ぶい&ぶい 無為無為** 日本史史料研究会
〒350-1321埼玉県狭山市上広瀬860 武蔵
野学院大学国際コミュニケーション学部
神野潔研究室 TEL04-2954-6131
www17.plala.or.jp/t-ikoma/
◇7 2009.5 A5 18p
「一宿一飯の恩」をめぐる一公
文書の中の「やくざ」の証言 中村 元
書評 高山秀嗣著『中世浄土教者
の伝道とその特質—真宗伝道史
研究・序説—』（永田文昌堂、
2007年3月） 小野澤 眞
コラム 「阿倍晴明で卒業論文を
書きたいのですが、……」 藤原 重雄

◆**富士山遺文拾遺** まるはとだより発行所
〒334-0013埼玉県鳩ヶ谷市南1-5-5
岡田博方 TEL048-281-4118
◇37 2009.4 B5 8p
古今東西宝語(37)
道徳は人間のものである
大島有隣先生御説経開扉(34)
『天保八年問答』(1) 岡田 博
有縁機縁録 ご好意交換誌ご紹介
◇38 2009.5 B5 8p
古今東西宝語(38) 君のために
大島有隣先生御説経開扉(35)
『天保八年問答』(2) 岡田 博
有縁機縁録
佐々木典比古先生ご逝去

◆**昔風と当世風** 古々路の会
〒343-0027埼玉県越谷市大房1006-4-410
津山方 TEL048-976-9387
◇93 2009.3 B5 68p
《福井県三方郡美浜町早瀬地区合同調査
特集》
民俗儀礼に残る早瀬の歴史 森 隆男

美浜町早瀬地区合同調査を終えて
下境 芳典
泣き女の痕跡を追って—早瀬のナ
キバアサンに涙の意味を考える
今野 大輔
福井県美浜町の食べものと暮らし
丸山 久子
子どもの頃の思い出
—早瀬の正月行事その他 谷川 隼也
美浜町早瀬地区での調査を終えて
小峰麻希子
早瀬が早瀬へ 早瀬 哲恒
女中奉公—昭和の「行儀見習」 むらき数子
美浜町早瀬地区見聞抄 五十嵐 稔
海と湖に囲まれた漁村の建築儀礼
—福井県三方郡美浜町早瀬 津山 正幹
明治の小学校(2)
藤村式建築の遺産・陸沢学校 古川 修文

◆**袖ヶ浦市史研究** 袖ヶ浦市郷土博物館
〒299-0255千葉県袖ヶ浦市下新田1133
TEL0438-63-0811
◇14 2009.3 A4 162p
《袖ヶ浦市郷土博物館開館25周年記念号》
『袖ヶ浦市史研究』第14号の発刊
にあたって 渡邊 護
巻頭図版
〈報告1 開館25周年記念シンポジウム「房総
と熊野をつなぐもの」〉
記念口演
熊野観心十界曼荼羅の絵解き 村主 堯春
「熊野」の山・川・滝・海
—信仰を醸し出した自然 林 雅彦
房総の熊野信仰をめぐる展望と課
題 桐村久美子
東国熊野社領の景観—『長寛勘文』
と千葉県内の事例から 笹生 衛
「海上の道」と中世の房総社会—

熊野神社・熊野信仰をもたらし
たもの 湯浅 治久
黒潮が伝える人・もの・文化 三石 学
パネルディスカッション「東国の
中の熊野」 林雅彦／桐村久美子／
笹生衛／湯浅治久／三石学
〈報告2 市史編さん成果還元事業講演会〉
袖ヶ浦市善福寺の阿弥陀如来三尊
像について 濱名 徳順
忘れられた寺社—本山修験上総西
組(1) 宮本敬一／高木澄子
資料紹介 貞応3年千葉県木更津
市某寺蔵木造聖観音菩薩立像に
ついて 秋山 一雄

◆**千葉県史研究** 千葉県史料研究財団
〒260-0013千葉市中央区中央4-15-7
千葉県文書館内 TEL043-221-5100
◇17 2009.3 A4 205p
巻頭言『千葉県の歴史』歴史系の
完成を記念して
宇野俊一／岡本東三／宮原武夫／佐藤
博信／久留島浩／西垣晴次／山村順次
〈近現代小特集〉
青年名望家・幹義郎と自由民権運
動 大庭 邦彦
昭和初期千葉都市計画と市財政 小林 啓祐
千葉県の戦後被差別部落の生活と
運動 黒川みどり
千葉県母親運動の展開と性格 福田真美子
九十九里米軍基地闘争における漁
業問題と漁業対策 森脇 孝広
明治期の農山漁村における衛生組
合の設置目的と役割 中澤 恵子
資料紹介
海老原家文書にみる政治家の書
簡 中村 政弘
日中戦争勃発前後の加納久朗あ

て書簡(2) 加藤 時男
小野哲第34代千葉県知事の関係
史料 竹内 桂
昭和21年の父と子 小野 孝
私の中の千葉 小野 茂
源頼朝の再起と安房国安西氏・洲
崎神社 滝川 恒昭
室町期における香取社大櫛宜家の
一動向—応永〜嘉吉の一族相論
を手がかりに 湯浅 治久
古河公方足利成氏の佐倉移座・古
河帰座に関する一考察—白河結
城・下総結城・下野小山諸氏と
の関係 佐藤 博信
書 評
『千葉県の歴史 通史編 近世1
・2』 大口勇次郎
『千葉県の歴史 資料編 近現代
3(政治・行政3)』 雨宮 昭一
『千葉県史研究』総目録

◆**成田市史研究** 成田市立図書館
〒286-0017千葉県成田市赤坂1-1-3
成田市教育委員会 TEL0476-27-4646
◇33 2009.3 A5 140p
近世成田における俳諧事情 加藤 定彦
行方沼東の受け取った書信 山本 侑介
現在の成田市内に存在していた戦
災浮浪児収容施設「聖十字学園」
に関する一研究 小倉 常明
聞き書き 成田の昔と私の歩み
林盈六／小倉博
慶長四年「馬乗り村御縄打水帳」
と馬乗り村—高木利介氏聞き書
き 木村修／外山信司
体験記 東亜建設青年訓練所につ
いて(2) 吉川 正信
成田市史調査員だより(2)

成田市の指定文化財—考古資料
 ・原始古代史跡 高木 博彦
 奈土貝塚と製塩土器 小川 和博
 大栄地区の中世地名 木村 修
 「金沢文庫文書」にみえる伊能・堀籠 外山 信司
 江戸城西丸刃傷事件と旗本伊丹氏 鎗木 行廣
 桜田の高札場 小倉 博
 壬申戸籍にみる南敷村 神尾 武則
 大栄町の合併—県庁文書から 中村 政弘
 新更会大須賀支部について 矢嶋 毅之
 勅使が立寄った古刹大慈恩寺 藤下 昌信
 大栄地区の石造物 島田 七尾
 成田市史年表稿 2006(平成18)年 中村 政弘
 成田市関係新聞記事目録 2006(平成18)年／記録 平成20年1月～12月 新規資料ほか

◆西上総文化会報
 〒292-0833千葉県木更津市貝淵1-11-4 TEL0438-25-2003
 ◇69 2009.3 B5 111p
 巻頭言 会報69号発刊にあたって 藤波 弘美
 高柳銚子塚古墳上の三つの至徳堂碑 三浦 茂一
 「至徳堂を知る会」の活動報告 亀田 慎
 勤皇と佐幕の狭間、佐貫藩家老相場助衛門の暗殺 鈴木 貢
 後水尾院の和歌九首を詠んで 橘田 昭雄
 霊峰富士と富士講と 高崎 繁雄
 鹿野山中の「招魂之碑」を訪ねて 諏訪 貞夫
 富津市と和算家 太田 敏幸
 第三のノアの大洪水幻想 飯田 昭二
 先人に学ぶ環境保全 金子 馨
 小山義雄先生の思い出 高木 秀子

私の生涯と戦争(1) 葉丸比呂志
 世界遺産スペインのトレド—天然の城塞都市を歩く 曾根 英範
 色事模写修行 小嶋 一朗
 移動研修レポート
 新座・所沢・東村山をゆく 鬼形 貞子
 武蔵野の名刹平林寺を訪ねて 児玉江美子
 栃木県東野・南那須を訪ねて 橘田 昭雄
 奥多摩路 青梅を訪ねて 高木 秀子
 第567回例会
 西上総文化総会と懇親会
 第568回例会 移動研修Ⅰ
 新座・所沢市等訪ねて
 第561回例会 研究発表 至徳堂
 関係資料の価値について 三浦 茂一
 第570回例会 移動研修Ⅱ 栃木
 県東野・南那須地方を訪ねて
 第571回例会 第60回西上総文化展
 第572回例会
 受賞者祝賀と忘年の会
 第573回例会 研究発表会 相場
 助右衛門の暗殺とその周辺について 鈴木 貢
 第573回例会 研究発表会
 後水尾院の和歌九首について 橘田 昭雄
 故重城良造さんのこと 編集部
 時の流れに想う 堀切 貞子

◆あしなか 山村民俗の会
 〒132-0031東京都江戸川区松島1-19-17
 サトービル TEL03-5663-6748 年5000円
 www8.ocn.ne.jp/~sanmin/
 ◇285 2009.5 B5 20p
 散田の富士塚考—富士吉田御師衆の八王子移住伝承 竹谷 靱負
 映画「オオカミの護符」を観て
 —里びとと山びとのあわいに 湯月 峻
 山里だより(13) 続・まむしアレ

コレ話—丹波美山町 西浦 左門

◆解放研究／明日を拓く
 東日本部落解放研究所
 〒111-0024東京都台東区今戸2-8-5
 TEL03-5603-1861
 ◇22/74 (35-1) 2008.9 A5 166p 2100円
 《特集 第14回全国部落史研究交流会》
 特集にあたって
 全体会講演
 被差別民史における鎌倉 鳥山 洋
 前近代史分科会報告
 陸奥国棚倉織多頭支配組織の内
 部動向と地域社会 横山 陽子
 旦那場と地域における警備活動
 —下野国を中心に 坂井 康人
 前近代史分科会の討論 小倉 英樹
 近現代史分科会報告
 戦時下「京都市地方改善地区改良事業」から戦後「錦林地区改良住宅建設事業」へ 前川 修
 占領期の同和行政—GHQの政策の評価を中心に 金井 宏司
 近現代史分科会の討論 田原 行人

◆足立区立郷土博物館だより
 〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
 TEL03-3620-9393
 ◇56 2009.4 A4 4p
 新しい博物館へどうぞ／今年の特
 別展は 特別展「メイキング博物館」／企画展「建築と職人技術と役割、地域とのかかわり」／収蔵資料展／区民教養講座／郷土芸能のもよおし／博物館の検索パソコン／リニューアル記念展「千住閨屋の文人 建部巢兆」

◆足立史談
 足立区教育委員会足立史談編集局
 〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393
 ◇494 2009.4 A4 4p
 東京周辺の高射砲陣地 鈴木 恒雄
 都市近郊の農産物を追う(17)
 ツマモノ(4) 萩原ちとせ
 肥溜めの展示によせて
 ◇495 2009.5 A4 4p
 千住のやっちゃ場玉手箱(2) 明治に記録された千住葱「千住市場調書」から(1) 編集部
 代官 佐々井半十郎について(2) 佐々井半十郎—代官に至るまで あさくらゆう
 都市近郊の農産物を追う(18)
 水セリ(1) 萩原ちとせ

◆足立史談会だより
 〒120-0001東京都足立区大谷田5-20-1
 足立区郷土博物館内 TEL03-3620-9393
 ◇253 2009.4 A4 4p
 コラム教育史料 終戦直後の日本の教育(90) 新教育指針 第五
 章民主主義の徹底 堀川 和夫
 足立区の登録文化財を観る
 3月丸の内探訪報告
 ◇54 2009.5 A4 4p
 平成21年度足立史談会総会
 春季区民教養講座
 鷗外スポット 森林太郎の医学大業績 臨時脚気病気調査会の創設とその成果(1) 山下 政三
 4月新田地区探訪報告「今新しくなる町・新田」再訪—標高五メートルの差 竹内 秀夫

◆板橋史談 板橋史談会

〒174-0076東京都板橋区上板橋2-30-7-104
TEL03-5398-2682

◇252 2009.5 A5 43p

『我衣』を歩く(2の1)

戸田の渡し旧堤防辺り 木田 誼
史跡を訪ねて(10) 前田家 猪瀬 尚志
写真探訪 板橋の地名(9)
「清水坂」 大澤 鷹邇
写真ニュース(12)「赤塚獅子舞」井上 富夫
私説 和宮は戸田の渡しを渡った
か 成澤 誠司

◆奥武蔵 奥武蔵研究会

〒188-0011東京都西東京市田無町7-12-21-302 浦野要方

◇367 2009.5 B5 27p

研修会と私の山歩き 浦野 要
「消えた高篠山」にその訳を問う
—高篠・高篠山・高篠峠考(2) 飯塚 孝雄
武蔵七党 染谷 鷹治
奥武蔵、秩父の獅子舞(29)
—麦原、住吉の舞 関口 洋介
新河岸川を訪ねて 岡野 守
日本水準原点と経緯度原点 町田 尚夫
餅つき山行の思い出 服部 英昭
ピラミッド漢字の山 木本 和男
偉業の陰に 大澤 昭美
カタクリを求めて 岡野 守
人は見かけによるもの 加藤 恒彦
山行報告

◆学習院史学 学習院大学史学会

〒171-8588東京都豊島区目白1-5-1
学習院大学文学部史学科研究室内
TEL03-3986-0221 年3000円

◇47 2009.3 A5 127p (抄)

将軍姫君の婚礼の変遷と文化期御

守殿入用—尾張藩淑姫御守殿を
事例として 吉成 香澄
書評 伊藤真実子著『明治日本と
万国博覧会』 館野 直子

◆季刊 Collegio 之潮

〒185-0021東京都国分寺市南町2-18-3-505
TEL042-328-1503 www.collegio.jp

◇36 2009.4 B6 44p

歴史地理学の窓 近世絵図の特性
川村 博忠
切絵図・武鑑・住宅地図(2) 芳賀 登
「谷戸頭」を歩く 田中 正大
東京文学地図帖 戦後編(19)
戸山アパート街 槌田 満文
大陸彷徨(2) ロマノフカ行(2) 島田 英常
中西悟堂を歩く(17)
新しい国立公園 尾瀬 西村 眞一
小型図紹介(1) 兵庫神戸／両港
全図 昭和13年 山下 和正
東京電車線路物語(15)
方向幕・方向板・側面板 井口 悦男
17世紀シベリアの地図化過程(3)
佐々木路子

コラム地図のなかの水辺(22)
浦安(2)
コラム番外 「紙(地図)予算」が
駆逐される時代に

◆北区史を考える会会報

〒115-0052東京都北区赤羽北1-3-10
大澤栄美方 TEL03-3907-0040

◇92 2009.5 B5 8p

第315回月例研究会 「江戸文化歴
史検定」から江戸時代を学ぶ 大澤 栄美
第316回史跡研究会 古くて新し
い鎌倉街道中つ道 春の散歩 芦田正次郎
第317回月例研究会 東京モータ

ーボート倶楽部—華麗なる水上
ドライバーたちの物語 領塚 正浩

◆交通史研究 交通史研究会

〒154-8515東京都世田谷区世田谷4-28-1
国士舘大学文学部 岡島研究室
TEL03-5481-3245 www.soc.nii.ac.jp/jstc/

◇68 2009.4 A5 51p

近世非直轄交通路間をめぐる情報
—長崎上使帰府情報の瀬戸内海
路への伝達過程から 鴨頭 俊宏
鎌倉期武家の公的通信と指摘通信
工藤 克洋
書評 井上攻著『近世社会の成熟
と宿場世界』 和田 実
例会報告要旨／新刊紹介／展覧会
情報

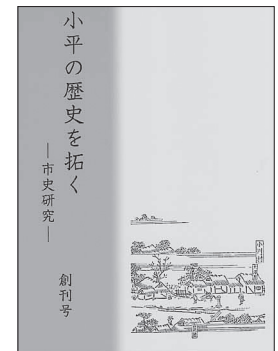
◆小平の歴史を拓く—市史研究

小平市史企画政策部編さん担当
〒187-8701東京都小平市小川町2-1333
TEL042-341-1211

◇1 2009.3 A5 98p

〈小平市史編さんにあたって〉
はじめに 小林 正則
「小平市」の歴史と未来 大石 学
小平市史の近現代史編さんにあ
って 大門 正克
小平市史編さんにあたって 香月洋一郎
小平市史編さんへの期待と決意 久留島 浩
まずは史料を読むことから 梅田 定宏
郊外の歴史を模索すること 大岡 聡
小平市史編さんにあたって 椿 真智子
小平市史編さんにあたって 今井美代子
小平市史編さんに望むこと 庄司 徳治
近世中後期村落における印の相続
と女性当主—武蔵国多摩郡大沼
田新田を事例として 千葉真由美

高度成長期、小平に若者たちがや
ってきた！—公民館青年学級記
念文集と学級新聞の紹介 鈴木 理彦
資料紹介
柳田家文書及び古書 蛭田 廣一
小平市立図書館における郷土写
真 近藤 幸子
コラム 芋が語る小平の戦時期 杉本 仁
市民の声
美園町の町名由来 小林 正雄
市史編さんに地域情報・資料の
扱い所をおもう 氏家 和正
市史編さん担当からのお知らせ
小平市史編さん方針



*小平市は昭和37年に市制を施行し、今年で47年になる。そこで、市制50周年に向けて市史編さんに取組むことになり、平成21年に、大石学東京学芸大学教授を委員長に、市史編さん委員会を立ち上げた。全体計画では、先ず平成20年度から25年度にかけて史料集を刊行し、本体は24年度に通史編3冊、別冊(図録、写真集)2冊、25年度に付編(索引、年表)2冊、26年度に概要集1冊を予定している。「市史研究」は、「市民の声」コーナーを設けるなどして、誌面を通じた交流の場と考えて創刊されたものである。創刊号においても、事業のスタートを知った市民から、希望

と期待の声が掲載されている。創刊に当たって、事業本部長である小林正則市長は、市史編さんの意義を次のように述べている。これまでは行政が主導してまちづくりやサービスを一律に行き渡らせてきた。だが、地域の特性、歴史や風土の尊重、個性や特徴、個の自立を求める市民の要求もあり、画一的なことへの違和感が出てきている。「今後のまちづくりや自治体運営の基本は、市民が主体的に担う自治意識をどう高め、より自立した地域組織にしていくなにかにかかっている」。市史編さんは、「地域の課題を解決し、歴史的な流れの中で小平市の現在を認識し、将来を展望する」ことにある、というものである。地方史研究の理念はまさにここにあり、市民参加の事業になっていくことを期待したい。

◆史学研究集録

国學院大學大学院史学専攻大学院会
〒150-8440東京都渋谷区東4-10-28
TEL03-5466-0142
◇34 2009.3 A5 107p
研究の原風景 吉岡 孝
正徳新例前後の長崎における抜荷
の主体変化と町の展開—犯科人
による近世長崎の編成 橋本 賢一
九州地方の風土記逸文に関する史料性 犬丸慎一郎
平成20年度國學院大學田子家文書
研究会活動報告—陸奥国磐前郡
上三坂村田子文書目録(6)
既刊目録(1号〜33号)

◆式内社のしおり 式内社顕彰会

〒151-0053東京都渋谷区代々木1-1-2
神社本庁内 TEL03-3379-8048
◇78・79 2009.3 A5 148p
律令学者瀧川政次郎と式内社研究

—新しい学問のために時代と戦った先達 嵐 義人
六入部是香と向日社について 星野 光樹
隼神社と撰関藤原忠実 山口 剛史
出羽国式内社巡拝の旅 東北支部
／式内社巡拝の記 関東支部・
東海支部・四国支部

◆史 叢 日本大学史学会

〒156-8550東京都世田谷区桜上水3-25-40
日本大学文理学部史学研究室内
TEL03-3329-1151
◇80 2009.3 A5 90p (抄)
日露戦争後の日本における中国観
—男女別児童雑誌を素材として 金山 泰志
『慶長日件録』の慶長三陸津波関
連記事—地震学に果たすべき歴
史学の役割 下川 雅弘
明治末期における民間職業紹介所
構想—「帝国職業紹介所」案に
ついて 町田 祐一
「東アジア共同体」論雑感 鈴木 國弘

◆下町文化

江東区教育委員会生涯学習部生涯学習課
〒135-8383東京都江東区東陽4-11-28
TEL03-3647-9111 www.city.koto.eg.jp
◇245 2009.4 A4 8p
平成20年度指定・登録文化財の紹介
第27回時雨忌全国俳句大会記念講
演会 もうひとつの『奥の細道』
—曾良旅日記をめぐる 金森 敦子
平成21年度芭蕉記念館企画展 芭
蕉・宗田新出二点初公開／漫画
で辿る「奥の細道」と芭蕉—風
景漫画家沖山潤の世界 横浜 文孝

間もなく休館！
深川江戸資料館イベント情報
平成21年度中川船番所資料館企画
展「アオギスがいた海」 鈴木 将典
江東歴史紀行ミニ 東都三拾三間
堂深川移転顚末覚 赤澤 春彦
文化財揭示板

◆品川歴史館紀要

〒140-0014東京都品川区大井6-11-1
TEL03-3777-4060 1986年創刊
◇24 2009.3 B5 148p
品川歴史館の未来 坂詰 秀一
《特集 品川の中世・再発見》
大井・品川の人々と大江広元
—源頼朝・義経とその時代 五味 文彦
戦国大名北条氏の品川支配 池上 裕子
品川の中世史研究の現在—特別展
「東京湾と品川—よみがえる中
世の港町—」を開催して 柘植 信行
展示批評 特別展「東京湾と品川
—よみがえる中世の港町—」に
よせて 綿貫 友子
熊野と東国品川—地域関係の双方
向性をめぐる検討 伊藤 裕偉
交流を仲介する海「江戸湾」と海
晏寺の雲版 滝川 恒昭
中近世移行期の「商人宿」の機能
とその実像—伊勢国度会郡河崎
を事例として 千枝 大志
品川御殿山出土石塔に関する若干
の報告 本間 岳人
武蔵吉良氏の散在所領と関係地域
—品川、大井との関係をめぐっ
て 谷口 雄太
描かれ詠われた品川台場—ペリー
来航時から版の検討から 田中 葉子
御殿山外国公使館の選定経緯につ

いて 吉崎 雅規
新刊紹介 『東京の貝塚を考える』
を読む 和田 哲
元品川歴史館専門委員 宮本袈裟
雄氏を悼む 柘植 信行

◆城郭だより 日本城郭史学会会報

〒174-0056東京都板橋区志村1-35-2-202
TEL03-3967-1948
◇65 2009.4 A4 6p
伊勢北畠氏館の石積—第30次調
査・六田地区の成果から
嘉峪関(明代万里長城の西端)を訪
れて—史学会2月の中国巡見旅
行会より 西ヶ谷恭弘
最近の注目される城郭関連図書か
ら／最近の城郭ニュースから／
各地の城郭研究会活動から／史
学会活動報告

◆すみだ川 隅田川市民交流実行委員会

〒111-0042東京都台東区寿2-9-9
北村国男方 TEL03-3844-2008
ce.it-chiba.ac.jp/shinoda/
◇45 2009.4 A4 18p
はじめに 今こそシラウオ、アオ
ギスを復活させよう！ 糸井 守
第22回隅田川市民サミット・船上
隅田川・荒川・東京湾 船遊び
と交流会 馬場 永子
隅田川大学公開講座 隅田川沿い
に花開いた江戸の歌舞伎 近藤 尚子
隅田川の安全と親水デザインはど
うのように生まれたか 土屋 十園
川に顔を向けたまちづくりに 関根 博之
「つくろう、子供たちからの川環
境」紫川訪問記—「紫川を愛す
る会」20周年記念シンポ・交流

会に参加して 猪狩 達夫
 紫川交流会と別府温泉・日出町湧
 水を訪ねて 沼尻 重男
 隅田川大学第10回フィールドワー
 ク 隅田川河口域～勝鬨橋、東
 京湾岸 池田 悦子
 四万十町展と交流会
 —平成20年10月11日～13日 片田 宏一
 荒川クリーンエイドに初参加—隅
 田川・吾妻橋～桜橋間の清掃 糸井 守
 隅田川大学第11回フィールドワー
 ク 新設の舎人線を歩く 大松 駿一
 会員便り
 日本の川「ちくごがわ」 村松 昭
 江戸の粹「屋形船」 鈴木 哲夫
 佐藤武レポート 第16回「隅田川
 ハゼ釣り」と水辺観察」報告と歴
 史の記録

◆**大道芸通信** 日本大道芸・大道芸の会
 〒157-0061東京都世田谷区北烏山2-3-9-101
 光田憲雄 TEL03-3307-2146
 www.k5.dion.ne.jp/~daidoge/

◇184 2009.4 A4 2p 100円
 『風俗画報』が載せる雑業
 江戸市中世渡り種(6)

◇185 2009.5 A4 2p 100円
 わいわい天王と牛頭天王・蘇民將
 来

◆**多摩地域史研究会会報**
 〒190-0011東京都立川市高松町1-16-2
 文化財COM内 TEL042-521-0186

◇88 2009.5 B5 14p
 第66回例会報告 東中神駅周辺の
 「昭和」を歩く 三村 章
 立地と景観から考える多摩の中世
 (前期)寺院—江戸期の地誌・絵

図と近代地形図を手がかりに
 (7) 馬場 喜信
 研究会案内 空襲・戦災を記録す
 る会 第39回全国連絡会議八王
 子・多摩大会開催のご案内

◆**多摩のあゆみ** たましん地域文化財団
 〒186-8686東京都国立市中1-9-52
 たましん国立支店内 TEL042-574-1360
 年1200円 www.tamashin.or.jp

◇134 2009.5 A5 101p
 《特集 身近な野草を知ろう》
 私の散歩みち—八王子市 畔上 能力
 清瀬・植物散歩 栗山 究
 国分寺崖線の雑木林・野草 上田由紀子
 みんなで植物散歩
 —多摩市植物友の会の活動 三輪 勝子
 山地部の野草—高尾山周辺の野草
 新井 二郎

多摩川の野草を知ろう
 —オニウシノケグサを例に 遠藤宇一朗
 多摩の野草方言を探る 岡崎 学
 身近な野草を活用した環境教育
 —食べる・染める 渡部 雅彦
 洋風建築への誘い(23)
 田無 東大農場にて 伊藤 龍也
 建物随想記(18)
 東大農場の近代建築 酒井 哲
 古文書は語る(26) 千人同心の日
 光勤番出立への餞別—嶋崎家文
 書「日光在番餞別控覚帳」より 馬場 憲一
 本の紹介
 町田市企画部広報広聴課編『ひ
 っそり生きる町田の自然』 久保田繁男
 府中市郷土の森博物館編『ブッ
 クレット10 代官川崎平右衛
 門』 仲野 義文

◆**地方史研究**
 地方史研究協議会(発売:岩田書院)
 〒112-0002東京都文京区小石川3-10-5
 名著出版内 TEL03-3816-0739 年6600円

◇338 (59-2) 2009.4 A5 102p 1143円
 会告 第50回日本史関係卒業論文
 発表会について
 第60回大会を迎えるにあたって
 南九州の地域形成と境界性—都
 城からの歴史像
 常任委員会/第60回大会実行委員会
 近世の旅先地域と諸営業—上野国
 吾妻郡草津村を事例に 高橋 陽一
 利根川中流域における河道変遷の
 再検討—16世紀後半から17世紀
 前半を中心に 橋本 直子
 三方楽所の成立と南都楽人 北堀 光信
 文書館問題に関する会員への意見
 募集の結果について
 文書館問題検討委員会
 宮崎県地域史研究会について 初木 郁朗
 「史料は死料にあらず」と再嚙下
 —全史料協第34回全国大会参加
 記 大木祥太郎
 アーカイブズのこれまでとこれか
 ら—第34回全史料協全国大会
 (奈良大会)参加記 鳥野 茂治
 百舌鳥御廟山古墳(百舌鳥陵墓参
 考地)事前調査の見学について
 学術体制小委員会
 研究例会報告要旨 水野伍貴/石井里枝
 地方史の窓/新刊案内

◆**中央史学** 中央史学会
 〒192-0393東京都八王子市東中野742-1
 中央大学文学部 日本史研究室内
 TEL042-674-3790
 c-faculty.chuo-u.ac.jp/~s-sato/shigaku/

◇32 2009.3 A5 164p(抄)
 公開講演 中世武士団はハイブリ
 ッドの新人類だった 入間田宣夫
 慶應義塾大学古文書室における古
 文書検索システムの構築 丸島 和洋
 泰和6年(元久3・1206)対馬島宛高
 麗牒状にみえる「廉察使」につ
 いて 近藤 剛
 史料紹介 中央大学所蔵久世家文
 書「寛文三年日次」「久世家文書」研究会
 書評
 大村裕著『日本先史考古学史の
 基礎研究—山内清男の学問と
 その周辺の人々—』 小林 謙一
 垣内和孝著『室町期南奥の政治
 秩序と抗争』 小国 浩寿
 小山幸伸著『幕末維新期長崎の
 市場構造』 安高 啓明
 松井秀明著『エピソードで語る
 日本文化史』上・下 飯塚 聡
 新刊紹介
 小林謙一・セツルメント研究会
 編『縄文研究の新地平(続)—
 堅穴住居・集落調査のリサー
 チデザイン—』 井出 靖夫
 田代和生著『日朝交易と対馬藩』
 鈴木 康子
 博物館・資料館探訪
 たばこと塩の博物館 鎮目 良文
 第33回総会記事/大会研究発表要
 旨

◆**中央大学史紀要**
 中央大学入試センター事務部大学史編纂課
 〒192-0393東京都八王子市東中野742-1
 TEL042-674-2132

◇14 2009.3 A5 80+34p
 質実剛健の校風と中央大学

—天野徳也を中心として 風間 康紀
2007年度創立関係者資料調査に
ついて—高橋捨六・桑原羊次郎
関係資料調査を中心に 沖田 哲雄
行田市郷土博物館企画展「林頼三
郎」について 沖田 哲雄
中大ホームカミングデー「大学史
企画展」に関するアンケート調
査の結果について 中川 壽之

◆東京産業考古学会 東京産業考古学会
〒173-0011東京都板橋区双葉町22-8-403
多田統一方 FAX03-3964-8548
◇77 2009.4 B5 12p
新年度にあたって 田口 勇
柳原水閘の現況 平井 東幸
高柳健次郎氏のこと 河合 恭平
見学会&研究会「千葉県の産業遺
産を考える」の概要
リニアで走る都営地下鉄大江戸線
矢島フジオ
出版案内『鉄道遺産を歩く—岡山
の国有鉄道—』 小西 伸彦
研究所めぐり 多田 統一
赤煉瓦探訪(24) ブリック・マイ
スター鬼頭日出雄(4) 八木 司郎

◆練馬郷土史研究会会報
〒177-0041東京都練馬区石神井町2-28-31
吉越正博方 TEL03-3996-4454
◇321 2009.5 B5 4p
豊島氏関係史料を読む(12) 関東
公方足利成氏と豊島氏(2) 伊藤 一美
「服部半蔵幸隆」人物考(3)—高松
庵寺の仁王像銘をめぐるM氏書
簡によせて 日向康三郎
昭和史雑感
昭和天皇と将軍達(4) 鎌田 茂男

◆文化財研究紀要
北区教育委員会生涯学習推進課
〒114-0022東京都北区王子本町1-15-22
TEL03-3908-9325
◇22 2009.3 B5 142p
富士講の歴史的展開と「御大行の
巻」の成立に関する基礎的考察
—江戸時代後期の人びとの共属
感覚と結合関係を意識して 中山 学
御殿前遺跡発掘調査報告書—国立
印刷局滝野川工場グラウンド地
点 宮下 孝優
平成19年度区内遺跡本発掘調査・
試掘調査概要報告
白龍山東覚寺旧蔵の「廣群鶴」鐫
刻銘入常夜燈
北区古文書調査会活動報告(平成
19年度) 北区古文書調査会
北区指定有形民俗文化財「赤紙仁
王」(石造金剛力士立像)の現状
変更について
文化財説明板／文化財係事務事業
の概要と実績(平成20年度)／北
区埋蔵文化財発掘および整理作
業調査一覧表／北区ふるさと農
家体験館運営実績報告(平成20
年度)

◆民具研究 日本民具学会
〒221-8686横浜市神奈川区六角橋3-27-1
神奈川大学日本常民文化研究所内
TEL045-481-5661 年5000円
◇139 2009.3 B5 101p
所沢飛白の再現を通してみるモノ
と身体技法とのかかわり 宮本八恵子
西日本における竹箕の製作技法と
分析視点—「竹箕」と「藤箕」
をめぐって 森本 仙介

包装紙にみる情報と民俗 加藤 紫織
民俗文化財保存修理の考え方 大島 暁雄
小特集「震災と博物館」市民ボ
ランティアによる被災資料の整
理保存活動の意義と課題—新潟
県中越地震における事例 高橋由美子
小特集「震災と博物館」地震の
なかの博物館 三井田忠明
「沖縄の紙を考える会」の活動に
ついて 栗国 恭子
鳥取市佐治歴史民俗資料館所蔵民
具の調査 樫村 賢二
入間市博物館所蔵 国登録有形民
俗文化財「狭山茶の生産用具」
について 三浦久美子
第123回研究会報告 災害時の地
域博物館のあり方—民具と生活
地什器について 石野 律子
第124回研究会報告 所沢飛白製
作の再現を通して知る身体技法
とモノとの関わり 大藪 裕子
第125回研究会報告 渡部先生に
学ぶフィールドワーク—農具そ
れ以前 伊達 仁美
書評 小林茂著『内水面漁撈の民
具学』 小川 直之
書籍紹介 さいたま民俗文化研究
所編『南牧村の民具—こんにゃ
く作りとその用具』 柳 正博
展示批評
栃木県立博物館「野州麻—道具
がかる麻づくり—」 浜野 達也
柏崎ふるさと人物館「海と暮ら
す—素潜り漁の人と道具—」 池田 哲夫
展示紹介
埼玉県立歴史と民俗の博物館
「名もなき至宝—うけつがれ
し重要有形民俗文化財—」 二階堂 実

燕市産業史料館—スプーンなど
の金属洋食器を展示する新館
がオープン 大楽 和正

◆民俗音楽研究 日本民俗音楽学会
〒184-8501東京都小金井市貫井北町4-1-1
東京学芸大学音楽・演劇講座 加藤富美子
研究室気付
◇34 2009.3 B5 94p
黒川能と文化財保護制度—昭和27、
32、51年の文化財指定を中心に
柴田 真希
中国トン族と日本の掛け合い歌な
ど—多声合唱の由来 星野 紘
藤沢市の辻堂諏訪神社における祭
囃子「神奈川囃子」の音楽構造
岡田 睦美
明治期以降の西洋音楽受容様相の
一要因としての舞台観劇慣習—
民俗学視点からのアプローチ 林 英一
〈第22回大会報告「日本民謡研究の現状と課
題」〉(2008 東京)
基調講演
日本民謡研究の現状と課題 小島 美子
シンポジウム 日本民謡研究の現
状と課題 小島美子／加藤義男／伊野
義博／懸田弘訓／藤井知昭
研究発表要旨
「お船歌」の研究(6)—青森県の
文献資料と歌唱伝承について
小野寺節子
施律分析の方法論(2)—民謡の
節まわしと詞型の見かた 上西 律子
小浜島における男声の斉唱によ
る歌謡の伝承について 加藤富美子
黒川能を教えるということ—小
学校における伝習活動を中心
に 柴田 真希

生国魂神社子ども獅子舞の囃子の復活—篠笛の復曲について 岡村ひかる

わらべうた教育の抱えるもの—25年間の実践より 安田実佐子

観光と芸能—台湾原住民の事例から 薛 羅軍

日本人学者 浅井惠倫1930年代フィールドワークの資料について 林 清財

歌で過ごす村の正月—中国トン族 星野 紘

第6回民俗音楽研究会報告(2009河口湖) 民俗音楽伝承の新たな力 加藤富美子／小林豊

◆民俗芸能研究 民俗芸能学会
〒169-8050東京都新宿区西早稲田1-6-1
早稲田大学演劇博物館内 TEL03-3203-4141
年6000円

◇45 2008.9 A5 50+34p
早池峰神楽の継承と伝播—東和町における弟子神楽の変遷 中嶋奈津子
神楽の三拍子と混合拍子 松永 建
書評 大石泰夫著『芸能の〈伝承現場〉論』 石井 一躬
民俗芸能研究文献目録—平成18年度 俵木悟／渡辺伸夫

◇46 2009.3 A5 70p
八注連の諸相と変遷について 藤原 宏夫
「下総十二座神楽」について 森林 憲史
城嶽舞の継承と現状 中山 琥一
書籍紹介 下野敏見著「南日本の民俗文化誌」第3巻『トカラ列島』 松原 武実

◆無形文化遺産研究報告 東京文化財研究所
〒110-8713東京都台東区上野公園13-43

東京文化財研究所無形文化遺産部
TEL03-3823-2241

◇3 2009.3 A4 232p
X線透過撮影による能管・能笛の構造説明 高桑いづみ

現行法会における付物・付楽の諸相—2008年勤修の法会に関する調査報告 近藤 静乃

無形文化遺産としての工芸技術—染織分野を中心として 菊池 理子

伝統工芸技術の記録と保存—江戸時代後期の「葛布地道中着」に用いられた素材の復元を事例として 深津 裕子

近代京都の陶芸技術にみる古典へのまなざし—革新と復古の間で京焼陶工が目指したもの 森下 愛子

民俗行事の変化とその評価について—愛知県「鳥羽の火まつり」を例に 大島 暁雄

立物花火の技術伝承—愛知県新城市東新町「立物保存会」の事例から 服部比呂美

資料紹介 梅村豊撮影歌舞伎写真 土田 牧子

国立音楽大学附属図書館寄贈 竹内道敬旧蔵音盤目録(3) 飯島 満

◆明治大学博物館友の会会報
〒101-8301東京都千代田区神田駿河台1-1
TEL03-3296-4448 年3000円
www.meiji.ac.jp/museum/

◇20 2009.4 A4 8p
アメリカの美術館で見たこと 大塚 初重

友の会結成20周年記念行事 「認知考古学的視点から見た日本列島の先史時代」講演を聴いて 鶴田 博

明治大学博物館バックヤード見学

会／銅鐸講演会

友の会結成20周年記念行事 会員発表会と伊能G Lの特別講演会 終わる

「江戸の罪と罰—裁きと仕置きの世界を知る」を拝聴して 村井 孝行

2009年度春季特別展 東アジア・海のシルクロードと“福建”—陶磁器 茶文化 東西交易 水中考古 外山 徹

遺跡見学記
霞ヶ浦南岸の遺跡を訪れる 橋本 秀夫

富士見市見学会 城址と古民家と 堅穴住居／上野動物園見学会 純粹の在来種の保護に努力

◆目黒区郷土研究 目黒区郷土研究会
〒152-0003東京都目黒区碑文谷4-15-13
長澤英男方 TEL03-3711-3959

◇651 2009.4 B5 8p 150円
廻国印と吉良頼治(1) 竹田 務
江戸五色不動の謎(1) 田丸 太郎
明治七年・北海道開拓 橋口 明子
昭和七年 仲野 基道

会報にみる目黒の昔(17) 「目黒歳時記十 秋の日」目黒竹山人 奥田直道副会長のご逝去を悼んで 平山 元也

トピックス 五本木庚申塔群の今 衾の語源 「伏水」考 栗山 佳也

◇652 2009.5 B5 8p 150円
見学会参加記
日暮里・谷中ぶらぶら散歩 事業部
廻国印と吉良頼治(2) 竹田 務
江戸五色不動の謎(2) 田丸 太郎
明治八年・小学校 橋口 明子

会報にみる目黒の昔(18) 「目黒歳時記十一 とりの市」目黒

歳時記十二 年の暮」目黒竹山人

正覚寺の畜牛慰霊碑に説明板が設置された 平山 元也

トピックス 戦国武将ブーム・大河ドラマの好調さは歴史研復興になる？

随想 成田山のお守り 栗山 佳也

◆郵便史研究 郵便史研究会
〒112-0011東京都文京区千石2-42-7
田中寛方 TEL03-3945-2497 年3500円
www.yuubinshi.sakura.jp

◇27 2009.3 B5 56p 2000円
高崎馬車運輸会社・郵便馬車会社・廣運舎に関する東京都公文書館所蔵文書について 金沢 真之
郡中郵便局の明治期史料 山崎 善啓
珍しい北千島発信のエンタイヤ 福井 卓治
飛脚略史(2) 星名 定雄

ていばーく(通信総合博物館)資料紹介(11) 新たに発見された東大寺文書 井上 卓朗

最初の郵便規則訂正版(京都府模刻)について 谷 喬
小包送票異聞(1) 通常小包 加藤 秀夫
旧刊紹介(1) 今井信之『英文はかきの書方』 鈴木 克彦

◆洋学史研究 洋学史研究会
〒116-0014東京都荒川区東日暮里3-12-17
松本英治方 TEL03-3891-6482 年5000円

◇26 2009.4 A5 129p
志筑忠雄について 片桐 一男
蘭学における「コンストカビネット」について 八百 啓介

宇田川榕菴の西洋食文化研究 上野 晶子

幕末におけるアイヌ民族の「日本」

帰属意識について 新藤 透

志筑忠雄の実家

—中野家に関するノート 松尾龍之介

書 評

片桐一男著『それでも江戸は鎖国だったのか—オランダ宿日本橋長崎屋』 松本 英治

松尾龍之介著『長崎蘭学の巨人—志筑忠雄とその時代』 向井 達夫

◆開国史研究 横須賀開国史研究会

〒238-8550神奈川県横須賀市小川町11

横須賀市企画調整部文化振興課内

TEL046-822-9478 年1000円

◇9 2009.3 A5 142p 800円

口絵資料解説・紹介

『横須賀軍港鎮遠号観覧之図』 山本 詔一

『開国史研究』第9号発刊にあたり 山本 詔一

総会記念講演

アジアの中の日本開国 嶋村 元宏

長崎青方文書「浦賀実録」の検討

—狂歌「泰平の」の成立をめぐって 田中葉子／岩下哲典

幕末、洋才和魂の諸相

—水戸藩を中心に 草間 俊郎

浦賀奉行所の鉄砲事業 浅川 道夫

幕末期、通詞達の活躍とその業績 新井 三郎

『異国船之事』

—「ビッドル効果」とは 杉浦 隆之

竹々岡台場関係文書・史料目録 山本哲也／浅川道夫

1853年5月7日付 THE ILLUSTRATED LONDON NEWS の要訳について—米国艦隊の日本遠征 高野 栄一

猶ほ土蔵附売家の栄誉を残す可し

—横須賀製鉄所(造船所)創立異聞 大出 鍋蔵

タウンゼント・ハリス雑感 碓井 文昭

中島三郎助の修行した武術について 大河内将俊

◆郷土誌 葉山 葉山郷土史研究会

〒240-0112神奈川県三浦郡葉山町堀内1874

N P O法人葉山まちづくり協会内

TEL046-876-0421

◇6 2009.4 B5 126p

はじめに 鈴木 雅子

《特集 上山口—にほんの里100選》

上山口概説 森田 昌明

上山口の里・昔の上山口・葉山町

全国に見る上山口 編集部

上山口歴史巡り(庚申塔巡り) 鈴木 雅子

上山口の字・地名の由来(地図・調査簿) 鶴 泰

四季に見る上山口の風土と気風 岩澤 直捷

五人組帳にみる上山口の屋号と家紋(屋号・家紋表) 今井 義雄

新善光寺に建つ徳本上人の六字名号碑 片山 義雄

桜山「大山」と上山口村 黒田 康子

「間門遺跡」再考 軽部 一一

上山口水脈考

—棚田と谷戸田に見る水利用 横山 幹生

上山口の「浦賀道」 鈴木 雅子

北条氏時と冨塚善四郎 戸塚 栄

創作民話 竜神さまの涙 山本 貫恭

唐木寺の三嶋(島)神社とうなぎ伝説 片山 義雄

西光寺余話 齋藤 昭次

豊かであった上山口村 鳥居 信吉

ゴルフ場・湘南国際村開発の経緯 三留 勲

江戸～大正期の上山口の商店 横田 文男

上山口の棚田と献上米

石川栄／永津和夫／永津宣義

分教場時代の思い出 齋藤 國久

上山口の昔を語る会 矢嶋 道文

特別寄稿 伝猪俣小平六・岡部六弥太墓への疑問 鈴木かほる

コラム

不捨山摂取院新善光寺 片山 義雄

お寺に行かれた延命地藏尊 横田 文男

道普請での想い出 齋藤 昭次

上山口の鎮守杉山神社考 片山 義雄

上山口のお盆雑記 片山 義雄

上山口の河童伝説 須藤 勝治

上山口にあった長屋門と水車 片山 吟二

大沢の熊野権現社と山神社 高城 通教

三浦乙女椿 古要 祐慶

御惑の枝垂桜 軽部 一一

松葉山観正院 上村 章

水源地か「曳き家」された池田邸 滝本 誠一

八幡山法林院大昌寺 坂田 慶隆

水晶はあった!? 横田 文男

上山口と自分史の少年譜 大串 定典

冨塚善四郎異考 内藤 範子

古文書部会活動

「小田原衆所領役帳」(葉山政夫氏所蔵) 濱岡 辰紀

石川家文書について 内藤 範子

年貢の納め時 滝本 誠

平成20年度発掘古文書目録 古文書部会

地域史話 「長柄桜山古墳群」の覚え方(4)—学術調査の進展と新しい協議体制のスタート 東家洋之助

特別寄稿 東北の国からの「葉山」地名考(3) 辻井 善弥

「葉山郷土研究会」の紹介・平成20年度活動報告・5号訂正 鶴 泰

◆コロス 常民文化研究会

〒254-0016神奈川県平塚市東八幡2-8-20

西海賢二方 年1000円

◇117 2009.5 B5 6p

斬首・切腹・食人 時枝 務

城下町の民俗的世界

—小田原の年中行事(6) 西海 賢二

◆湘南考古学同好会々報

〒251-0044神奈川県藤沢市辻堂太平台2-3-19-104 寺田兼方方

◇115 2009.4 B5 24p

新石器文化のかがやき

BC3000年紀の世界 赤桐 邦子

第4回若手研究者を囲む勉強会

常陸における装飾古墳の出現とその背景 中尾麻由実

酔龍愚見録(13) 澤田大多郎

さば神社を考える(8) 西村堅一郎

「発掘された日本列島2008」見学記 三薺正一郎

「大地に刻まれた藤沢の歴史Ⅱ—縄文時代その1—」を見学して 永山 鶴一

「岩宿遺跡」バスツアーに参加して 林 美佐

「有志による勉強会」が3年目に入りました 来 諄

12月定例会の見学記 伊藤 吉雄

“第26回藤沢市遺跡調査発表会”及び“第9回藤沢市遺跡調査速報展” 奥野 雅彦

07年藤沢市・隣接市町考古関係主催

要出版物一覧

横穴墓往還(4)

—長岡百穴・唐御所横穴墓 上田 薫

◆戦争と民衆

戦時下の小田原地方を記録する会

〒250-0011神奈川県小田原市栄町3-13-21
井上弘方
◇61 2008.8 A5 16p
《特集 家庭で語り継がれる戦争体験》
家庭でこそ戦争体験の聞き取りを
—本会と一緒に聴き取りをしま
せんか
聞き取り 孫に語る戦時下の生活
語り手・矢野茂夫
祖父の話聞いて 矢野 柚子
定期毒手から届いたたくさんの声
小田原にある瓜生外吉海軍大将の
胸像 井上 弘
書籍紹介 深田祐介著『歩調取れ、
前へ』／香川芳文著『小田原地
方の本土決戦』
◇62 2009.3 A5 16p
聞き取り 戦死した兄について
話し手・草柳喜代子
解説 戦死者が残した資料につい
て 井上 弘
交流報告
全国連絡会議第38回青森大会参
加記 香川 芳文
戦災・空襲記録づくり第24回東
海交流会参加記 矢野 慎一
書評 『小田原地方の本土決戦』を
読んで 栗田 尚弥
書籍紹介 香川芳文著『小田原地
方の本土決戦』

◆藤沢市文書館紀要
〒251-0054神奈川県藤沢市朝日町12-6
TEL0466-24-0171
◇31 2009.3 A5 58+31p
青木長右衛門嘉房の伊勢参宮旅行
について 加藤 芳典
『藤沢山日鑑』記事年表(文化13年

～文政3年) 酒井 麻子
藤沢市史年表稿(平成18年) 山田 之恵

◆三浦一族研究 三浦一族研究会
〒238-8550神奈川県横須賀市小川町11
横須賀市企画調整部文化振興課内
TEL046-822-8116 年1000円
◇13 2009.3 A5 224p 800円
口絵資料紹介・解説 観応二年十
月七日付三浦高通制札 真鍋 淳哉
ごあいさつ 蒲谷亮一／石黒幸雄
総会記念講演 衣笠城合戦から考
える中世の城と戦い 中澤 克昭
研究ノート 三浦一族の群像から
見えてくる義連の生没年—『新
横須賀市史』の活用を中心とし
て 山崎 正
シンポジウム 基調講演 南北
朝・室町期の三浦一族—「新横
須賀市史 資料編 古代・中世
Ⅱ」の刊行を記念して 山田 邦明
シンポジウム報告 事務局
基礎講座 中世社会と三浦一族
—鎌倉時代 高橋 秀樹
学習講座第1回
鎌倉御家人の「お家の事情」 伊藤 一美
学習講座第2回 鎌倉御家人にと
っての「都市鎌倉」とは 伊藤 一美
会津若松市訪問交流研修・ミニ講
演会 会津・葦名氏の終焉とそ
の後 石田 明夫
史跡めぐり
平成20年度 第1回～3回 荒井 正美
会員コーナー
会津若松市訪問交流研修に参加
して 芳賀 久雄
三浦一族研究会 平成20年度史
跡めぐりに参加して 佐々木 成

三浦一族関係文献目録(13) 中里 行雄

◆民具マンスリー
神奈川大学日本常民文化研究所
〒221-0802横浜市神奈川区六角橋3-27-1
TEL045-481-5661 年3500円
◇493 (42-1) 2009.4 A5 24p 350円
生活用具としての錫器 吉田 晶子
福岡県須恵町立歴史民俗資料館に
おける新しい資料公開にあり方
—ボランティアによるデジタル
コンテンツ作成 小田 勝美
各地の取り組み わら工芸研究会
(わら細工継承グループ) 尾澤 千鶴子
◇494 (42-2) 2009.5 A5 24p 350円
大阪の錫器製造 吉田 晶子
民具短信 藁で編んだ砥袋とカマ
ス—勝浦法花在住の篤農家のお
話を中心に 立花 弥生
民具短信
定福寺豊永郷民俗資料館開館 釣井 龍秀
書籍紹介 『民具歳時記—道具と
ともに—』第11集 川口 哲秀

◆悠 久
鶴岡八幡宮悠久事務局(発売:おうふう)
〒248-0005神奈川県鎌倉市雪の下2-1-31
TEL0467-22-0315
◇115 2009.4 A5 136p 680円
《特集 和薬》
口絵 富山の売薬
エッセイ 古典芸能の教育法 藤田 洋
和薬の歴史 中西 準治
売薬の諸相 松井 寿一
大雄山最乗寺(道了尊)の薬「大雄
丸」 越川 次郎
上代古典と和薬—神話にみる医薬
松本 直樹

薬草と図譜 岡田 稔
吉宗と正伯・政勝—人々の健康を
願って 吉岡信／小倉豊
花を鎮めるということ 鹿谷 勲
口絵解説 富山の売薬 芳賀日出男
八幡宮紹介 川越八幡神社(埼玉
県川越市南通町)

中 部

◆郷土史燕
燕市教育委員会・燕郷土史研究会連合会
〒959-1295新潟県燕市白山町2-7-27
TEL0256-63-4131
◇2 2009.3 A5 177p
延宝九年燕町絵図成立の背景の一
考察—吉田村の町場形成との比
較 亀井 功
長岡藩士昭忠之墓銘と鈴木文豪先
生 松澤佐五重
直江兼統奉納の天神木像について
星野 和彦

大洪水の慟哭・横田切れ
—島上校に残る破堤沿革史 下村 光吉
稲島村・仁ヶ村の長岡藩御竹山に
ついての一考察 亀井 功
玉川堂物語(6) 玉川 基行
消えた大島村と古峰ヶ原 幸田 昭
燕という地名についての考察 石黒 克裕
断簡 澤庄屋と旧松長村の村々打
越組のこと 北澤 昭松
彫金師松華堂遠藤俊吉の残した記
録について 小林佐武郎
吉田町史編纂こぼれ話 旧栗生津
村(野本新田)と平松遮那一郎(旧
道上村福島) 北澤 昭松
資料紹介
寛政六年三月「横田組御案内帳」
抜粹 塚本 智弘

国上村古老温故座談会記録集(2)
 至誠庵初代可念の述懐
 文化六年 地藏堂組田畑御案内
 帳(1)
 吉田郷土史研究会研修
 長岡市内記念館等めぐり
 ◆郷土新潟 新潟郷土史研究会
 〒950-2021新潟市西区小針藤山15-15
 伊藤善允方 TEL025-266-3076 年4000円
 ◇49 2009.3 A5 116p
 明訓学校の盛衰
 ―明治教育史の一齣
 中世城館の概要と西浦区の山城と
 館
 「新潟湊祭り」の原点・日和山住
 吉神社―水戸教と住吉信仰の結
 合
 旧陸軍大日原演習場
 新潟市の古文書に親しむ 元和二
 年十月 堀直奇の領内郷村への
 置目―西蒲区福井集落開発セン
 ター所蔵文書
 春の史跡探訪旅行(斐太ノ里)初参
 加記
 秋の史跡探訪旅行「多賀城跡」を
 訪ねて
 第22回「会津と越後を語る会」
 (南魚沼市大会)
 ◆新史料協だより
 新潟県歴史資料保存活用連絡協議会
 〒950-8602新潟市中央区女池3-1-2
 新潟県立文書館内 TEL025-284-6011
 ◇14 2009.3 A4 10p
 県立文書館の独自性を発揮すべき
 時

平成20年度総会報告
 平成20年度公文書保存・活用講座
 平成20年度研修会報告
 研修会参加記
 全国歴史資料保存利用機関連絡
 協議会全国(奈良)大会
 新史料協研修会
 第1回 刈羽村
 第2回 新発田市
 新潟県の史料保存機関紹介シリー
 ズ(12) 十日町情報館―開館10
 周年を迎えるにあたって
 市町村消息・短信
 妙高市
 佐渡市
 南魚沼市
 村上市
 ◆新潟県立文書館だより
 〒950-8602新潟市中央区女池3-1-2
 TEL025-284-6011 www.lalanet.gr.jp/npa/
 ◇11 2009.3 A4 4p
 ギャラリー展示文書紹介 上杉謙
 信・景勝の書状「直江兼統」
 とその時代展より
 新たに閲覧可能となった文書等
 (20.4～21.3)
 ◆まきの木 巻郷土資料館友の会
 〒953-0041新潟市西蒲区巻甲3069-1
 TEL0256-72-6757 年1500円
 ◇90 2009.4 B5 14p
 《第90号記念号》
 史料紹介
 下丈巻と下条巻
 和納代官所と馬堀筒
 藤田治雄著『越後一宮弥彦神社の

研究』について
 山上健著『樋曾(旧岩室村)が生ん
 だ写真画家 三富興一』
 巻郷土資料館友の会巻史学会
 合同視察研修旅行―回想
 平成20年巻郷土史通信
 ◆良寛だより 全国良寛会会報
 〒951-8112新潟市中央区南浜通2 北方文
 化博物館新潟分館内 TEL025-222-2262
 ◇124 2009.4 B5 24p
 良寛遺墨解説(82)
 良寛尊像つれづれ(86) まあろ人
 形「良寛さまと子ども」谷口綾
 子氏作
 折々の良寛(13)
 良寛ウォークと寺泊密蔵院
 平成21年度全国良寛会南魚沼大会
 愛媛県美術館企画展「良寛墨宝展
 ―最晩年の芸術と生涯―」
 良寛さまから現代人が学び得るこ
 と
 良寛の歌論は桂湖村によって子規
 へ伝えられた
 『新潟日報』題字脇「良寛の詩歌」
 連載に寄せて
 良寛との嬉しい絆
 各地良寛会紹介
 「新発田良寛会」の紹介
 「小田原良寛会」の紹介
 追悼 谷川敏朗先生
 弔 辞
 弔 辞
 安らかに眠りください
 トピックス／新刊紹介／会報・会
 誌紹介

◆砺波散村地域研究所研究紀要
 〒939-1382富山県砺波市花園町1-78
 TEL0763-32-2339
 ◇26 2009.3 B5 49+34p
 講演 庄川扇状地河川の魚類
 2000年の庄川扇状地右岸中田地区
 の河川工事に伴う渇水事故とそ
 の補償問題
 南砺市の平成20年7月28日豪雨災
 害について
 砺波農民の相馬中村藩への移民
 中世砺波・射水の舞楽曼荼羅供
 ―寺院と芸能
 砺波高等学校生徒による郷土資料
 館をプロデュースしよう―様々
 なメディアを活用した情報発信
 飛騨屋集落総合調査について経過
 報告／庄川源流調査報告／庄川
 上流地域見学会実施報告／平成
 20年度砺波散村地域の学習講座
 ◆石川れきはく 石川県立歴史博物館
 〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1
 TEL076-262-3236
 www.pref.ishikawa.jp/muse/rekihaku/
 ◇91 2009.4 A4 6p
 春季特別展「肖像画にみる加賀藩
 の人々」
 貸出中の館蔵品／主な刊行物のご
 案内／行事日程／催事日録
 兼六園周辺文化の森活性化企画展
 「KOSODE 百・華・繚・乱―
 丸紅所蔵衣裳名品展」(予告)
 ◆加能史料研究 石川県地域史研究振興会
 〒920-0964石川県金沢市本多町3-2-15

石川県立図書館史料編さん室内
TEL076-223-9579
◇21 2009.3 A5 58p 1500円
講演 戦国時代の足利将軍家と本
願寺・加賀一向一揆 山田 康弘
折口信夫の「古代研究」をめぐっ
て 森田喜久男
『加能史料』未収録史料の紹介(1)

石川県立図書館史料編さん室
加能地域史研究文献目録
中世、近世

◆加南地方史研究 加南地方史研究会
〒923-0903石川県小松市丸の内公園町
小松市立博物館内 TEL0761-22-0714

◇56 2009.3 B5 115p
小松の神社奉納物
—絵馬・石造物から 山前 圭佑
消えた鉄路—石川県内の路線 五十嵐一雄
越前浜坂「汐越の松」の和歌につ
いて 池端 大二
新作歌舞伎 銘刀石切仏御前全五

段の物語 石田 寛人
小松のバンモチ石 犬丸 博雄
拉致連行問題新聞集成編年史 大西 勉
木曾路をゆく青空教室 橋本 正準
倭国の国々 福田 義光
御山御坊と金沢別院

—金沢御堂の成るは天文15年 松田 義雄
万葉人の生と死について—沈痾自
哀文と貧窮問答の歌より 山本 恭子
史料紹介

今江村・矢崎村両村境絵図
—矢崎町町有文書のうち 山前 圭佑
小松城周辺の絵図 竹下 一郎
小松旧記目録(編年版その四)—
小松史 史料篇(上・下巻)よ
り 竹下 一郎

北野勝次先生を偲ぶ
公私ともに師と仰いだ人 山前 圭佑
北野勝次先生追悼 犬丸 博雄
人生のテーマをみつけたい 上野 共榮
北野勝次先生を偲ぶ 築田 浩
北野勝次先生を想う 山崎 史郎

◆加能民俗 加能民俗の会
〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1
石川県立歴史博物館内 TEL076-262-3236
年4000円

◇152 (12-10) 2009.3 A5 17p
私の民俗ノートより 前田佐智子
エブリコ再考とその周辺
—酒の燗用具のこと 天野 武

◆加能民俗研究 加能民俗の会
〒920-0963石川県金沢市出羽町3-1
石川県立歴史博物館内 TEL076-262-3236
年4000円

◇40 2009.3 A5 101p
《本会創立70周年紀年特集号》
明治初期における神社祭祀の変容
と地域社会—気多神社、明治17

年の社務日誌を通して 市田 雅崇
シンポジウム「地域民俗の再性」
—問題提起 小林 忠雄
消えゆく金沢の婚礼の象徴 東條さやか
富山民俗の会の現状と課題及び対
策 森 俊

白山麓西谷の結婚習俗—「白山麓
西谷の人生儀礼用具及び民家」
調査報告に寄せて 天野 武
白山の歩荷 橋禮吉／山口一男
柳田國男とG.J.ラムステット 由谷 裕哉

◆能登のくに 能登を知る会
〒927-1214石川県珠洲市飯田町14-71

西山郷史方 TEL0768-82-0297 年1000円
◇1 2009.4 B5 6p
能登を知る 能登びとと風呂／七
つ七尾の天神さん／宇加塚・猪
平の順礼供養塔
書籍紹介 『ドライブ紀行 いし
かわ移籍めぐり能登編』橋本澄
夫著、『なたうち語集—中能登
方言の記録—』和田勝著
資料館案内
羽咋市歴史民俗資料館

◆若越郷土研究 福井県郷土誌懇談会
〒918-8113福井県福井市下馬町51-11
TEL0776-33-8860 年3500円

◇285 (53-2) 2009.3 B5 41p
グリフィスの日本昔話 山下 英一
超勝寺・本覚寺の両寺末寺帳から
見た越前諸寺院の近世における
動向について 松原 信之
貞享期における越前松平家の家史
編纂—「家譜」「世譜」編纂前史
長野 栄俊

◆MARUBI
富士吉田市歴史民俗博物館日より
〒403-0005山梨県富士吉田市上吉田2288-1
TEL0555-24-2411 www.fy-museum.jp

◇32 2009.3 A4 8p
富士吉田あれこれ 女の節供 布施 光敏
博物館Report
食行身祿の生家を訪ねて 高橋 晶子
文化財だより／四季の展示—小
正月のダンゴバラ／月江寺学
術調査報告

◆飯田市歴史研ニュース 飯田市歴史研究所
〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145 TEL

0265-53-4670 www.city.iida.nagano.jp/iuhr/
◇39 2009.4 A4 4p

2009上半年飯田アカデミア／歴史
研究所の平成21年度事業概要を
お知らせします／地域史講座
シリーズ満州移民—飯田下伊那
からのメッセージ／企画展示
絵図と史料からみる上飯田の江
戸時代／歴研ゼミ
市民の声 歴史研究所を知る—鬼
塚さんと出会って 近藤サトル
リレーエッセイ

退任のごあいさつ 鬼塚 博
新刊紹介 史料で読む飯田・下伊
那の歴史1『松尾大森本の家と
周辺の社会』、飯田・下伊那史
料叢書 近世史料編1『飯田町
役用古記録』

◆飯田市歴史研究所年報
〒395-0002長野県飯田市上郷飯沼3145
TEL0265-53-4670

www.city.iida.nagano.jp/iuhr/
◇19 2009.3 A4 109p

仲村進の四つの個展について(2)
—個展「故里山河」と個展「大
地・牛哀歌」 横村 洋介
田中芳男自筆『科塾行雑記』
—解説と翻刻 田中 義信
「龍」彫刻からみた飯田市旧本町
一丁目屋台の彫物師について—
尾張名古屋彫物師・瀬川治助重
定の可能性 水野 耕嗣
飯田下伊那地方の中世五輪塔 岡田 正彦

◆伊 那 伊那史学会
〒395-0081長野県飯田市宮ノ上4048
TEL0265-22-6017 年5500円

◇971 (57-4) 2009.4 A5 50p 500円
《考古学特集》
口絵 平畑遺跡の埋甕 山下 誠一
古墳終末期における飯伊地域の姿
相 桐原 健
古代伊那郡衙確定資料について 今村 善興
諏訪と下伊那にみる縄文時代の同
異いくつか 神村 透
下伊那教育会館参考館の考古資料
の再検討(3)—飯伊地方におけ
る縄文時代の下呂石製石器の流
入 下伊那教育会考古学委員会
水晶山発見の旧石器資料と遺跡の
特徴 市橋 雄一
飯田市千栄の下村遺跡(鶯ヶ城跡)
発掘調査概報—三遠南信自動車
道路建設に伴う発掘調査 曳地 隆元
平成20年下伊那考古学年報 岡田 正彦
◇972 (57-5) 2009.5 A5 50p 500円
口絵 松尾多勢子の平田門入門誓
詞と鉄胤の挨拶状 前澤 健
江戸への旅と夫人足の出府 今村 善興
「御用日記」に見る旗本伊豆木小
笠原家の諸相 久保田安正
おさんの座禅石と白隠の鉄棒図 桃沢 匡行
天保の大飢饉と無縁塔—松尾亭庵
の撰文・来迎寺の無縁塔 林 登美人
飯田・下伊那地方の廃仏毀釈 佐々木洋一
近代前期における山の所有権をめ
ぐる動向—伊賀良、阿智地域を
中心に 吉川 登
松川入—民有林直轄治山事業の導
入 原 宏

◆伊那路 上伊那郷土研究会
〒396-0021長野県伊那市伊那7799-2
TEL0265-78-6719 年5000円
◇627 (53-4) 2009.4 A5 40p 500円

《考古特集号》
関わった上伊那の遺跡によせて
一下伊那人の私が 神村 透
神子柴遺跡の意味するもの 堤 隆
有孔鍔付土器考と上伊那における
その分布 御子柴泰正
上伊那郡中川村荻谷原遺跡発掘調
査から 太田 保
上伊那一円発見の方形周溝墓の実
態(1) 飯塚 政美
資料紹介 三角形多頭石斧とその
付近出土の土器 本田 秀明
文化短信
たつのアートフォーラム 赤羽 義洋
古文書の窓(88) 支配役所に添簡
発行を願い出た文書 清水 満
師匠の背中(2)より(6) 精米 若林 徹男
◇628 (53-5) 2009.5 A5 48p 500円
《特集 カンボジアに学校を建てる》
カンボジアに学校を建てる 内藤 英昭
チョアムプカー小学校贈呈式
挨拶他
創作童話 ケンのひとりごと 東條美智子
教育なくして国の発展なし 唐澤 等
正に僻村のチョアムプカー
S V Aの活動を現地でみて 福澤 祐司
カンボジア「感動」の旅 玉木 幸治
百聞は一見に如かず 川崎 玲子
ボランティアの決意あらたに 池上美恵子
絵本を贈る活動から 野原 和子
長桂寺テンブル 漆戸 栄子
アンコール遺蹟 清水 満
世界遺産ハロン湾 福澤 信雄
上伊那一円発見の方形周溝墓の実
態(2) 飯塚 政美
木曾駒ヶ岳への宗教心 田畑 真一
文化短信 祝う御出版『上伊那教
育会所蔵文化財 目録と考察』竹入 弘元

考古あれこれ(1)
高尾第一遺跡と私 伊藤 修
師匠の背中(2)より(8) 散炭焼き 若林 徹男
『伊那路』との交流団体・機関の
紹介(3)

◆信 濃 信濃史学会
〒390-0805長野県松本市清水1-9-607
TEL0263-36-1785 年8400円
www.shinano-shigakukai.com
◇711 (61-5) 2009.5 A5 82p 900円
長野県諏訪郡永明村立永明尋常高
等小学校長『小松茂日記』にみ
る「二・四事件」(上) 小平 千文
松代藩諸士・藩士の手紙 仁科 叔子
明治前期における「真享騒動」物
語の変容 塩原 佳典
三九郎の名の由来について(2) 浜野 安則

◆千 曲 ふるさとに学ぶ 東信史学会
〒386-0024長野県上田市大手2-7-13 上小
教育会館内 TEL0268-24-2182 年3000円
◇141 2009.5 A5 66p
新発見の尺牘や墨蹟による新見解
別所安楽寺樵谷惟仙禅師の生涯
(1) 桜井 松夫
史跡めぐりに参加して 小林 正男
遺稿 血ノ池地籍保安林編入につ
いて 小林 太郎
御影陣屋について 柏木 易之
『千曲』論文目録 80号～140号 堀内 泰
古文書解説講座 第134回 清水 岩夫
地区だより

◆長 野 長野郷土史研究会
〒380-0905長野市七瀬南部14-7
TEL026-224-2673 年3000円

www.janis.or.jp/users/kyodoshi/
◇264 2009.4 A5 60p 700円
《特集 善光寺御開帳(2)》
伝説の寺、善光寺 正信坊に残る
銭屋五兵衛の位牌／光明院に伝
わる大数珠
未来への提言 善光寺七社の現在
(1) 柳原神社・木留神社 清水隆史／小林竜太郎
善光寺御開帳と一茶 小林 一郎
善光寺御開帳を大発展させた長野
の二人の熱き男—中沢与左衛
門・岡本孝平 八木 輝夫
長野西後町秋葉神社の建造物につ
いて 立川和四郎富昌の彫刻建
築 丸山日出夫
上杉謙信の密教と毘沙門 土井 重男
善光寺地震などを伝える『見集録
坤』の紹介(3) 鬼頭 康之
講談「真田三代記」(19) 小林 一郎

◆長野県民俗の会通信
〒390-0222松本市入山辺1403 木下守方
TEL0263-50-9911 年5000円
www.k2.dion.ne.jp/~folklore/
◇211 2009.5 B5 8p
長野市戸隠・鬼無里の麻栽培調査
報告 佐藤 優紀
第164回例会に参加して 荒川万利恵

◆岐阜市歴史博物館だより
〒500-8003岐阜県岐阜市大宮町2-18-1
岐阜公園内 TEL058-265-0010
◇71 2009.4 A4 8p
岐阜市制120周年記念事業 特別
展「日本のパロディー—古典に
まなぶ、古典であそぶ—」
岐阜市制120周年記念事業 特別

展「魯山人の宇宙」
 加藤栄三・東一記念美術館「加藤
 栄三・東一 故郷：岐阜を描く」
 博物館ニュース
 よみがえるか？メンコブーム
 加藤栄三・東一記念美術館は日本
 画の制作過程が検証できるユニ
 ークな美術館
 平成20年度受贈資料
 館蔵資料紹介 各務支考像

◆美濃民俗 美濃民俗文化の会
 〒503-2227岐阜県大垣市青野町1180-1
 大垣歴史民俗資料館内 TEL0584-91-5447
 年1000円
 ◇503 2009.4 B5 6p 250円
 「天保の飢饉」を生きた二人
 二宮金次郎と和田吾六(1) 杉原 恭三
 殿様のくらし(72) 十万石大垣藩
 主 戸田氏正の江戸暮らし(4) 清水 進
 淡墨桜物語 林 佐多哲
 “青墓”は、「おうはか」は「あお
 はか」か？ 堤 正樹
 ◇504 2009.5 B5 6p 250円
 大垣市北方町 春季祭礼奉納相撲
 聞き書き 長谷川恵三
 食べ物を粗末にしない 佐竹小夜子
 殿様のくらし(73) 十万石大垣藩
 主 戸田氏正の江戸暮らし(5) 清水 進
 「天保の飢饉」を生きた二人
 二宮金次郎と和田吾六(2) 杉原 恭三
 オアシス運動 伊藤 明生
 私設博物館特別企画展「東海の酒
 器展」について 土田 晃司

◆月刊通信ふるさとの民俗を語る会
 民俗文化研究所
 〒438-0086静岡県磐田市見付3532 TEL0538

-32-3546 www4.tokai.or.jp/child-c.jp/
 ◇24 2009.5 A4 4p
 激動の川名ひよんどり 吉川 祐子

◆静岡県近代史研究会会報
 〒432-8011浜松市中区城北3-5-1 静岡大学
 情報学部 荒川章二研究室内 年4000円
 ◇267 2009.4 B5 4p 200円
 4月例会レジュメ “聞き書き集
 静岡の女性史” 制作に向けて 奥田 利子
 新刊紹介 一ノ瀬俊也著『皇軍兵
 士の日常生活』 村瀬 隆彦
 2月幹事会報告 村瀬 隆彦
 ◇368 2009.5 B5 4p 200円
 5月例会レジュメ
 明治30年代の歴史教育論 渡邊 明彦
 書籍紹介 中西僚太郎・関戸明子
 編『近代日本の視覚的経験 絵
 地図と古写真の世界』 高柳 友彦
 新刊紹介 荒川章二著『日本の歴
 史 十六 豊かさへの渴望』(小
 学館、2009年3月) 橋本 誠一
 論文・図書紹介(1) 村瀬 隆彦

◆豆州歴史通信 豆州研究社歴史通信部
 〒414-0001静岡県伊東市宇佐見1976-10
 ◇434 2009.4 B5 4p
 続明治時代の郵便・電信・電話
 南豆風土誌(静岡県賀茂郡)より
 続伊豆に関係の無い「伊豆」の名称
 ◇435 2009.4 B5 4p
 文明開化は欧米文化や生活の他に
 知られざる多くの学問も普及し
 た 1974(明治7)年12月 伊豆
 の樹木 造船用の堅牢な木材調
 査実施
 1902(明治35)年 伊豆疑獄事件／
 1898(明治31)年 男・女雑魚寝

に親嘆息／1899(明治32)年
 伊豆半島縦断鉄道／1929(昭和
 4)年 静岡県政史話消却事件／
 1880(明治13)年 伊豆半島でも
 国会設置の願望盛ん
 国歌「君が代」について反対意見 森山 俊英
 ◇436 2009.5 B5 4p
 江戸時代伊豆国の分郷 小さな村
 に複数の知行支配地 伊豆発展
 の弊害の一例？
 ◇437 2009.5 B5 4p
 続・江戸時代→伊豆国の分郷
 国歌「君が代」二番もあった

◆駿河 駿河郷土史研究会
 〒417-0061静岡県富士市伝法66-2
 富士市立博物館内 TEL0545-21-3380
 ◇63 2009.3 B5 140p
 巻頭言 街の中の小さな図書館 渡邊 繁治
 中吉原宿の街並を考える 渡辺 誠
 コラム
 吉原宿印のある飛脚便 石川 健三
 鈴川駅からの馬車鉄道関係資料
 石川 健三
 和算に挑む 渡邊 照好
 90年前昭和天皇が鈴川でゴルフを
 楽しんだ話 川島 徳彦
 倭尊百々衣(襲)姫と駿河五百原 山田 益男
 近世東海道の変遷 高田 國義
 「高反別村方明細書上帳」(駿州富
 士郡下入山瀬村)から 杉山 照司
 善得寺(推定)周辺の石造物及び伝
 承—善得寺考 外伝七 仁藤宏之助
 教育に尽力した森本校長 福澤 清
 今井村の田畑に用水を引いた
 —若き指導者 甲田宗三郎 福澤 清
 パティナーのように 斉藤斗志二
 草創期のわが母校 鈴木 清見

経済不況を農業振興で克復 植田とおる
 会議(総会・理事会・事務局会議・
 各専門部等)の活動報告

◆六所家総合調査だより 富士市立博物館
 〒417-0061静岡県富士市伝法66-2
 TEL0545-21-3380
 ◇4 2009.3 A5 16p
 〈特集 平成20年度六所家総合調査概報〉
 東泉院の棟札類と建築生産活動 建部 恭宣
 六所家埋蔵文化財発掘調査の中間
 報告 佐藤 祐樹

◆あつた 熱田神宮宮庁
 〒456-8585名古屋市長久市熱田区神宮1-1-1
 TEL052-671-4151 www.atsutajingu.or.jp
 ◇222 2009.4 A5 28p (抄)
 熱田社の和歌と文学(23)
 —明治大帝、東幸の砌に 八木意知男

◆爽 恢 忠震会
 〒441-1305愛知県新城市竹広字信玄原552
 新城市設楽原歴史資料館内
 TEL0536-22-0673
 ◇22 2009.4 B5 10p
 条約調印の前史 滝川 一興
 「ベリー&ハリス」展を見学して
 印象記 西村 英之
 オランダに咸臨丸ゆかりの地を訪
 ねて 伊藤 久子
 岩瀬忠震の開国観と品川砲台前後
 小林 芳春
 岩瀬忠震曾孫の一家系について 前田 康司
 早稲田忠震日乗ホームページ 飯田 虎男
 「太平洋」に夢をリレーした岩瀬
 忠震と小栗忠順 伊藤 正英
 昌平饗科名録にみる岩瀬忠震 湯浅 大司

◆まつり通信 まつり同好会
〒496-8049愛知県愛西市塩田町砂山25
TEL0567-37-0441 年5000円
◇541 (49-3) 2009.5 B5 8p 600円
祇園祭・山鉦巡行と曳き手ボラン
ティア—特に保昌山を中心にし
て 米田 幸寿
近江八幡市左義長まつり見学記 鷲野 正昭
薬師寺の呪師走り MW
まつり通信索引 No521 ～ 540

◆民俗と風俗 日本風俗史学会中部支部
〒465-0064名古屋市名東区大針1-204
衣の民俗館 TEL052-701-7568 年5000円
◇19 2009.3 B5 168p
明治期における京都の菓子と内国
勸業博覧会 橋爪 伸子
『はな橘』にみる明治期の菓子業
界—1900年巴里万国博覧会への
出品から学んだこと 須川 妙子
近世大名による南蛮文化の利用—
信長・秀吉・徳川將軍家をめぐ
る南蛮菓子 布谷 陽子
幕末の洋式調練と帯刀風俗 浅川 道夫
胞衣と古着—対馬市美津島町今里
内藤 美奈
身体を包む—タヒチの衣服とタタ
ウ 桑原 牧子
芸能至上主義者貞奴の墓所として
みた貞照寺の特徴 森田 雅子
ペグラム出土象牙裝飾板 224bに
ついて 松平美和子
相應寺屏風からの飛躍
—歴史的地理的考察 上條耿之介
オーストラリア留学生向け狂言教
材の開発—「泉山伏」を中心に
ウィリアム・ペトルシャック
飯塚恵理人

書評／第20回学位論文報告要旨

◆史料 皇學館大学史料編纂所報
〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704
TEL0596-22-6462
◇220 2009.4 B5 10p 200円
志摩市阿児町珍敷古墓出土の蔵骨
器と鉄板について 岡田 登
いにしえの伊勢(1)—絵葉書・古
写真に見る戦前の宇治山田 山田 修司
◇221 2009.6 B5 16p 200円
真弓常忠氏「住吉大社本殿創建」
論への管見 所 功
延長七年元日朝賀儀の習礼—『醍
醐天皇御記』・『史部王記』に見
える朝賀の断片 佐野 真人
いにしえの伊勢(2)—絵葉書・古
写真に見る戦前の宇治山田 山田 修司
『續日本紀史料』第11巻の刊行

◆皇學館史学 皇學館大学史学会
〒516-8555三重県伊勢市神田久志本町1704
皇學館大学文学部国史学科研究室
TEL0596-22-6456 kokushi.kogakkan-u.ac.jp
◇24 2009.3 A5 107p
講演 新たな伊勢中世史像の再
構築—謎の楠部大五輪と楠部弘
正寺・岩田円明寺 松尾 剛次
鎌倉幕府の沙汰付について 多田 實道
彈正台の存在意義 高野 正人
大内義弘と朝鮮 前田 有也
—土田割譲要求を中心に

◆三重の古文化 三重郷土会
〒514-0006三重県津市広明町252
茅原弘方 TEL059-228-0783 年3000円
◇94 2009.3 A5 128p

草創期の三重郷土会
—考古少年のノートから 岩野 見司
伊勢市勢田町永代山経ヶ峯の瓦経
小玉 道明
御影堂平成大修理で分かったこと
大城 哲也
風外禪師の名—号諱—について 中世吉祥道
幕末維新の動乱と伊勢国神戸藩 水谷 憲二
「二ツ峠」雑考—明治四年伊賀暴動
における武力衝突場所の想定 山本 雅晴
伊東富太郎の足跡(2)
—那比新宮神社 石神 教親
伊東りき物語序章 萩原 正夫
天性の詩人・竹内浩三に関する伝
記的一検討—予備校時代の新史
料を兼ねて 千枝 大志
『和具の方言』 西岡 博子
追想・三ッ村健吉先生 藤田 明
史料復刻 松阪市「長井家文書」
三重郷土会古文書勉強会
新聞記事から 浅生 悦生

近 畿

◆湖国と文化 勸滋賀県文化振興事業団
〒520-0044滋賀県大津市京町3-4-22
TEL077-522-8369 年3160円
www.shiga-bunshin.or.jp
◇127 2009.4 B5 96p 630円
《特集 シニアが見つけた！湖国の文学Ⅰ》
紫式部と源氏物語 石橋 良樹
幻の高宮布へのいざない 一岡 キヨ
奥琵琶湖探訪 北川 昌美
奥びわこ探訪 木村柳太郎
湖北の春を彩る長浜・曳山まつり
鈴木 健治
近くにいた岸壁の子とその妻 辰巳 公子
朧月夜 富岡富美子
秦恒平とその生母(阿部鏡子) 中西 紀彦

万葉の歌を湖上から探る
津乎の崎 肥田 嘉昭
海津大崎の山桜物語 藤原 準次
げに、ありがたきかな
御詠歌のさとし 堀江 勇夫
紫式部の「奥びわ湖」とっておき
の話 松井 忠夫
源氏物語と花嫁荷物 松居 信夫
大樹とジージの探検記「昔、八日
市に飛行場があった？」 森下 忠彦
わがふるさとの悲恋ものがたり
「百日間を待てなかった勇」 山岡 完右
おじいちゃんのおはなし
景清道と腰掛石 和田 志郎
滋賀のかくれ里(11) 金勝山をめ
ぐって(1) 大野神社 いかいゆり子
興味津津 私の近江(4)
木地師の郷と山の神 MOTOKO
あの町この町(24) 甲賀市 今関 信子
湖国 人・物・風景(17) 近代医
学の魁 曲直瀬道三の清福の生
涯(近世) 苗村 和正
ふるさと四季の味(23) たけのこ
小川 久子
近江人物伝(1) 京極高次 木村 至宏
湖国と源氏物語(15) 「湖月抄」
の著者 北村季吟のふるさと 鈴木 ゆみ
ごきげんさん(28) 小西光代さん
辻村 琴美
北から南から 江竜喜信／西川清子／
袖森茂／今井信／奥田安都佐
再発見！滋賀の文学(6) 教科書
に見る滋賀ゆかりの文学(6) 井上 次雄
一寸一服 高穴穂神社の研究(2)
高穴穂宮は実在したか
梶原大義／村地彰／
高阪行雄／伊東六雄
大谷昭宏のハートツーハート(21)

「暴力」と「文化」。対極のなか
にいた日 大谷昭宏／田村元
水源の森を訪ねて(26)
高時川支流針川 檀上 俊雄
伝承に見る淡海(25) 鍋冠祭の言
い伝えに秘められたもの 黄地百合子
やんちゃ坊主伝(6) 戦中戦後編
(6) 異色の教師たち 高橋 勉
滋賀の伝説と民話「スズメとミミ
ズとキツツキ」 渡邊守順／斉藤裕子
編集長対談 湖に生きる(32)
ジャーナリスト 大谷昭宏さん
根津真澄／馬場和実
続・ふるさと歴史散歩「甲山古墳」
—野洲市小篠原 早藤 貞二
近江の海 おーい老いと呼んでみ
る(16) 桜とアラコキ 熊谷栄三郎

◆民俗文化 滋賀民俗学会

〒520-1121滋賀県高島市勝野1681-5
TEL0740-36-1414 年4800円
◇547 2009.4 B5 12p 420円
流言蜚語の罪(前)
—太平洋戦争と流言 吉岡 郁夫
オッチニの葉売りの起源 馬場杉右衛門
山下幸内上書の伝内流写本(中) 中村 武三
近江伊吹山系の伝承(10)
—寝物語の里と比夜叉姫 馬場杉右衛門
彦根城の築造伝承(4)
—守城演習命令(1) 馬場杉右衛門
幼児言葉について
—旧坂田郡近江町 粕渕 宏昭
石板・石筆について 粕渕 宏昭
三菱針について 粕渕 宏昭
南津田山城の発見—近江八幡市 長谷川博美
「高槻クラブスポーツ少年団」と
共に—回想記(2) 奥山 芳夫
◇548 2009.5 B5 12p 420円

時の権力者に何時も従順な日本人
—農耕同化民族の特性 菅沼晃次郎
山下幸内上書の伝内流写本(後) 中村 武三
流言蜚語の罪(後)
—太平洋戦争と流言 吉岡 郁夫
近江伊吹山系の伝承(11)
—顕教踊り・鈴木孫六 馬場杉右衛門
彦根城の築造伝承(5)
—守城演習命令(2) 馬場杉右衛門
幻の大型港湾城郭
南津田城の復元的考察(前) 長谷川博美
写し絵について 粕渕 宏昭
「高槻クラブスポーツ少年団」と
共に—回想記(3) 奥山 芳夫

◆宇治市歴史資料館年報

〒611-0023京都府宇治市折居台1-1
TEL0774-39-9260
◇2007 2009.3 B5 43p
御控茶師の成立について 坂本 博司

◆史迹と美術 史迹美術同致会

〒606-8048京都市上京区下立売通小川東入
西大路町146 中西ビル内
FAX075-441-3159 年8000円
◇794 (79-4) 2009.4 A5 32p 960円
鬼瓦百選(73) 小林 章男
仁徳紀小考(上) 田寺 英治
奈良県山辺郡山添村北野・極楽院
の石造層塔等について(中) 辻 俊和
第932回例会
大阪狭山市と狭山池 丸山 貞
第933回例会
五個荘の町なみと古美術 矢ヶ崎善太郎
◇795 (79-5) 2009.5 A5 32p 960円
鰐口の銘文(7) 愛甲 昇寛
鬼瓦百選(74) 小林 章男
奈良県山辺郡山添村北野・極楽院

の石造層塔等について(下) 辻 俊和
口絵写真説明
ダイビルの装飾彫刻について 加藤 繁生
第934回例会
奈良市大和高原地域を往く 東 暲

◆史談福智山 福知山史談会

〒620-0884京都府福知山市堀495-3
塩見昭吾方 TEL0773-22-7546
◇682 2009.1 B5 6p
北近畿の旅 巡禮(3) 『西国順禮
細見記』より(その補遺とまと
め) 嵐 光激
◇683 2009.2 B5 4p
平成21年度福知山史談会総会報告
(編集者より)
記念講演 夜久野の話「夜久野と
市川騒動」講師 足立悦夫氏
◇684 2009.3 B5 10p
夜久野と市川騒動 足立 悦夫
◇685 2009.4 B5 6p
平成21年度春の例会 夜久野高原
その歴史・地学・民俗の探訪(概
略)(編集者より)
コラム 夜久野町直見 重文木造
釈迦如来像 指定に至る経過の
一端 塩見 昭吾
◇686 2009.5 B5 4p
北近畿を訪れた文学者 上田秋成
の旅について 嵐 光激
◇687 2009.6 B5 4p
大江町南山観音寺の五輪板碑につ
いて 大槻 伸

◆地名探究 京都地名研究会

〒617-0002京都府向日市寺戸町二枚田12-
46 綱本逸雄方 TEL075-933-5667 年3000
円 www.geocities.jp/Kyotochimei/

◇7 2009.3 A4 84p
巻頭言 現地説明会の功德 吉田 金彦
京都の自然地名・災害地名(1)
—比叡山地・山麓の例 池田 碩
(古代)ウイグルの文化
—漢字音と漢文訓読について 庄垣内正弘
神社と地名 三輪明神とミワ(三
輪・大神・神・美和・三和) 生谷陽之助
丹生・壬生と水源関連地名 綱本 逸雄
花山院と比叡山「かまくら」 笹川 博司
紫式部・京の地理的空間 山崎 泰正
国宝『海部氏系図』から探る大丹
波王国と初期ヤマト政権 伴 とし子
地名研究における近世地誌—「丹
後風土記残欠」と『丹哥府志』 加藤 晃
中世に生まれた地名—西大寺領丹
後国志楽庄の中で 高橋 聡子

◆都藝泥布 京都地名研究会通信

〒617-0002京都府向日市寺戸町二枚田12-
46 綱本逸雄方 TEL075-933-5667 年3000
円 www.geocities.jp/Kyotochimei/
◇28 2009.4 A4 7p
第24回地名フォーラム報告 国宝
『海部氏系図』から探る大丹波
王国と初期ヤマト政権(伴とし
子)／中世に生まれた地名 西
大寺領丹後国志楽庄の中で(高
橋聡子)／地名研究における近
世地誌—丹後風土記残欠と『丹
哥府志』(加藤晃)
第8回京都地名シンポジウム／会
員新刊紹介／地名関連催し案内

◆立命館平和研究

立命館大学国際平和ミュージアム紀要
〒603-8577京都市北区等持院北町56-1 TEL
075-465-8151 www.ritsumeai.ac.jp/kic/a06/

◇10 2009.3 A4 123p (抄)
 広島高等裁判所における原爆症認定集団訴訟のための証言 安斎 育郎
 基地周辺の子どものたちのおかれた現状—普天間第二小学校の児童たちから垣間見える普天間基地返還 池尾 靖志
 前芝確三『原子力基本法(試案)』の執筆時期をめぐって 藤田 明史
 ひめゆり平和祈念資料館開館20周年—ひめゆり同窓会の平和運動の軌跡と次世代への継承の取り組み 普天間朝佳
 資料「昭和20年の中学生展」 兼清 順子

◆泉佐野の歴史と今を知る会会報

〒596-0845大阪府岸和田市阿間河滝1425
 井田寿邦方 TEL0724-28-0204 年1200円

◇256 2009.4 B5 12p
 泉陽紡織と父と五十年前の佐野 岡部 芳徳
 「根来政権」と民衆(2) 井田 寿邦
 吉野から奥千本への道を行く 廣田 浩治
 神社の整理統合(上) 上田 繁之

◇257 2009.5 B5 12p
 戦国期の佐野荘に関する新史料 廣田 浩治
 「根来政権」と民衆(3) 井田 寿邦
 神社の整理統合(下) 上田 繁之
 移行期の群像(66) 寺僧の人々(27) 井田 寿邦

◆大阪民衆史研究 大阪民衆史研究会

〒572-0824大阪府寝屋川市萱島東1-6-17
 TEL072-823-2486
 www.eonet.ne.jp/~minshushi/

◇63 2009.4 A5 95p 1000円
 ベトナム華僑個人史—ベトナム戦争・新経済区・ポートピープル 二宮 一郎

高校生が描いた「信太妻」と伝説のルーツについて 林 耕二
 なぜ戦後各地に軍人墓地が作られたか—泉佐野の事例から考える 横山 篤夫
 阪南市内に点在した避難舎(中)—所在地の特定とその位置から見えてくるもの 中川 義朗
 北鮮火田民と敗戦難民の記録(下) 滝川 義朗
 グラビア 隠れキリシタンの遺物か?—和泉市前田家の「弥勒菩薩像」 林 耕二

◆大阪歴史懇談会会報

〒596-8691大阪府岸和田郵便局私書箱18号
 FAX0724-38-4487 年5000円
 www.homepage2.nifty.com/rekikon/

◇296 (26-4) 2009.4 B5 8p
 歴史の物差し=暦の話 年初と年度初め 上田 雄
 3月例会報告(第271回)「豊臣期大坂の風景—新発見の大坂図屏風を読む」高橋隆博氏/古文書講座(第116回)「年貢免状 皆済目録」石川道子氏 白須 一信
 ◇297 (26-5) 2009.5 B5 8p
 歴史の物差し=暦の話 五月は春か、夏か 上田 雄
 4月例会報告(第272回)「高松塚古墳の壁画世界」米田文孝氏/古代史講座(第158回)「弥生(案外古いぞ)」松本正彦氏

◆大塩研究 大塩事件研究会

〒530-0053大阪府北区末広町1-7
 成正寺内 TEL06-6361-6212

◇60 2009.3 A5 94p

この言葉(25)
 戸居龍見 雷聲測黙 酒井一/岸本隆巳
 還暦でめぐりあった大塩研究の人びと 井形 正寿
 大塩事件と吉見英太郎(上) 倉島 幸雄
 宮脇志摩の墓碑 安部 亮介
 史料紹介 矢木原家文書 天坂 旭
 取り上げられた大塩家の過去帳 小西 利子
 木村権右衛門と大塩事件 久保 在久
 大塩事件研究会催しに参加して 上島 朱實
 「読む会」の「読めぬ人」 畑中 進
 『大塩研究』第51～60号目次

◆家系研究 家系研究協議会

〒567-0842大阪府茨木市五十鈴町1-26
 島野穰方 TEL072-634-5909 年5000円
 www.geocities.jp/kakenkyou/

◇47 2009.4 B5 135p
 系図資料 『姓氏原始録』(10) 武田 光弘
 珍姓のルーツ(12) 中田みのる
 続江戸期以前より見られる珍姓奇姓(2) 安原 繁俊
 “大浦氏の出自”と“二つの南部の流れ”(2) 吉井 功兒
 一千年を紡いだ薩摩国の刀鍛冶史 鍛って候(3) 浪平 博司
 真説 津軽為信物語(前)—大石内蔵助の高祖母共近衛卿の落胤か、時慶卿記の真実 佐藤 博
 息子の七回忌を終えて 或日の書き留めに想いを馳せる 小村 益夫
 作州史の流れと菅原系栗井氏の盛衰 栗井 弘二
 系図史料紹介(2) 馬原 浩一
 日本人と「七仏」の謎(日本七仏の謎)(1) 川村 一彦
 コラム
 奇名変名大集合・変名編

巻八 大間知氏 眞野 幹也
 ここでちょっとコーヒープレイ
 ク「ホケツなの」に正選手? 馬原 浩一

◆家系研究協議会会報

〒567-0842大阪府茨木市五十鈴町1-26
 島野穰方 TEL072-634-5909 年5000円
 www.geocities.jp/kakenkyou/

◇28 2009.4 B5 12p
 台湾に渡った日本の史料 島野 穰
 家系研究協議会 平成21年初の例会
 会員研究 徳川家康の出自に関する二、三の考察—松平氏祖先考 小村 克己

珍名さんいっしゅい(25) 眞野 幹也
 家研協たより/図書紹介/図書出版案内/受贈図書・資料

◆河童通心 和田寛

〒591-8021堺市北区新金岡町5-4-327
 TEL072-251-2586 年2400円

◇306 2009.4 A5 16p
 河童の文化史 明治編(2) 和田 寛
 「河童文庫」増加図書目録(他の書群からの移籍を含む)
 ◇307 2009.5 A5 16p
 河童の文化史 明治編(3) 和田 寛

◆河内長野市郷土研究会誌

〒586-0032大阪府河内長野市栄町21-11
 椋本進方 TEL0721-52-3394 年3000円

◇51 2009.4 B5 168p
 巻頭言 椋本 進
 三日市宿と京師の公家・鳥丸資慶 竹鼻 康次
 資料紹介 汐の宮の地質と汐の宮温泉について 松本 弘

河内長野市内の共同墓地所在一覧
浅井 五郎
茅の輪くぐりと美具久留御魂神社
松尾巴留美
資料紹介 高野鐵道株式会社・明治35年度下半期・第14回報告書について 松本 弘
石見川村オヤハタキ一件について
(前)—伝承と史実 玉城 幸男
「郷土研究会第一回調査標題」発見
川内野昭夫
定説を破る 今道 幸夫
鬼住村研究—鬼を名乗った男 中筋 喜昭
天見の監視哨 井上 元良
紀見峠隧道の崩落と朝鮮人問題 井上 元良
「河内長野 平家物語とその時代」
椋本 進
岩湧寺とその周辺の石造物—銘文を中心に 第9回知ったはりま
つか?河内講座資料より 椋本 進
平成20年度事業報告 安原幹也/今道幸夫
河内長野市委託事業について 椋本 進
河内長野市文化連盟事業報告(平成20年度) 椋本 進
記念事業委員会報告(平成20年度) 安原 幹也
会誌50号記念出版に至る経緯について 安原 幹也
会誌50号記念誌・編集の記録 松本 弘

◆近畿文化 近畿文化会
〒543-0021大阪市天王寺区東高津町11-9
日本生命上本町ビル5階
TEL06-4304-7433 年2200円
◇713 2009.4 A4 12p 300円
大和の墓制Ⅱ
生駒谷の葬地と石造物 狭川 真一
伊勢亀山城 亀山 隆

東西交通の結節点 亀山 稲富 正充
奈良県立橿原考古学研究所付属博物館春季特別展「吉野川紀行—吉野・宇智をめぐる交流と信仰」
◇714 2009.5 A4 10p 300円
伊賀上野の近代建築 川島 智生
大和の兜跋毘沙門天 神田 雅章

◆近畿民俗 近畿民俗学会
〒547-0031大阪市平野区平野南4-2-5
TEL06-6709-8533
◇177 2009.4 A5 47p
近江の勧請吊と似た下総の年頭行事—平年は十二、閏年は十三の民俗 澤田 文夫
不食供養と百万遍念仏—不食の日記からの百万遍功德目録へ 奥村 隆彦
淀川における川漁師の漁撈活動 伊藤 廣之

◆ヒストリア 大阪歴史学会
〒564-8680大阪府吹田市山手町3-3-35
関西大学文学部 西本昌弘気付
www.soc.nii.ac.jp/history/
◇214 2009.3 A5 158p 1500円
『日本書紀』の分註
—伝承の複数性から 遠藤 慶太
戦間期の農会技術員に関する一考察 深見 貴成
戦時期における憲法学と国体論の展開—国体憲法学の「立憲主義」から 林 尚之
羽柴秀吉勢の淡路・阿波出兵—信長・秀吉の四国進出過程をめぐって 尾下 成敏
大会個人報告 鎌倉府施行システムの形成と展開 亀田 俊和
わたしたちの文化財 洛中洛外図(尼崎市教育委員会所蔵) 伏谷 優子

書評 岩淵令治著『江戸武家地の研究』—近世都市武家地研究に接して 八木 滋
報告 百舌鳥御廟山古墳(百舌鳥陵墓参考地)の限定公開 北山 峰生

◆枚方市史年報
枚方市立中央図書館市史資料室
〒573-1159大阪府枚方市車塚2-1-1
TEL050-7105-8154
◇12 2009.4 B5 66p
日清戦争期の鉄道敷設計画と枚方 服部 敬
高槻藩の預所支配と天保改革 立野康志郎
元和・寛永期における交野郡の村落支配—「誓円ノ日記」を手がかりに 馬部 隆弘
史料紹介 「誓円ノ日記」(2) 蓮井 岳史

◆民俗文化 近畿大学民俗学研究所
〒577-8502大阪府東大阪市小若江3-4-1
TEL06-6721-2332
◇21 2009.3 A5 361p
《種子島・屋久島の民俗》
種子島・屋久島寛紀行
—カワラ前線南下スレドモ 大脇 潔
近世の種子島海運 胡桃沢勘司
屋久・種子の自然と民俗—青潮生 まれる海域の瀬風呂と赤米神事を中心に 戸井田克己
種子島のウミガメ漁 藤井 弘章
書評と紹介
青柳智之著『雷の民俗』 岸本 誠司
鹿児島県歴史資料センター黎明館・福島県立博物館編『樹と竹—列島の文化・北から南から—』 橋村 修
野地恒有著『漁民の世界「海洋

性で見る日本』 藤井 弘章
民俗学研究所講演会記録/『民俗文化』創刊号〜第20号 総目録(改訂版)

◆歴史考古学 歴史考古学研究会
〒580-0042大阪府松原市松ヶ丘2-12-16
奥村隆彦方 TEL072-331-6679 年3000円
◇60 2009.3 B5 76p
中国広東省东莞市立博物館蔵“象塔”について 多田 準二
薩摩屋所墓地所在の石造三層塔について 早川 正司
概報 瓦葺き式の石塔 三木 治子
能勢の石造品
能勢町山辺神社の角宝塔について 田村 信成
て 宮下 五夫
能勢町倉垣薬師堂の薬師如来坐像石仏について 田村 信成
書評 古川登著「中世石造塔、その広域編年の可能性について」海邊 博史

◆史料ネット NEWS LETTER
歴史資料ネットワーク
〒657-8501神戸市灘区六甲台町1-1
神戸大学文学部地域連携センター気付
TEL078-803-5565 年1000円
www.lit.kobe-u.ac.jp/~macchan/
◇57 2009.5 A4 12p
巻頭言 大規模災害時の歴史資料保全のあり方を学ぶ—岩手・宮城内陸地震の取り組みを通して 奥村 弘
特集 第4回地域史卒論報告会
概要 森脇 崇文
地域史卒論報告を終えて 檜垣和志/山田美佳/森田順子

兵庫津歴史講演会開催される 中野 賢治
特別寄稿 産業技術史資料の廃棄
が残した課題 廣川 和花

◆生活文化史 史料館だより

神戸深江生活文化史料館
〒658-0021神戸市東灘区深江本町3-5-7
TEL078-453-4980

homepage.nifty.com/fukae-museum/

◇37 2009.3 B5 24p

仁丹服のおかしな帽子 杉浦 昭典
海路による稲作東伝の謎—神戸市
東灘区本山遺跡の遠賀川系土器
の炭素年代から 森岡 秀人
ひょうごミュージアムデイズと地
域文化の発展—電磁的記録とし

ての博物館資料 高田 祐一
打出焼の歴史 藤川 祐作
解村時の本庄村職員 大国 正美
高橋川をたずねて 望月 浩
トライやる・ウィークと史料館—
本庄中学校の生徒を受け入れて

水口 千里
史料館設立から本庄村史刊行まで
の軌跡—本庄村史刊行・史料館
開館25周年記念会の報告を兼ね
て 道谷 卓

史料館所蔵資料の整理報告
—「財産区文書」その他 樋口 元巳
史料館日誌抄 道谷 卓

◆西宮文化協会会報

〒662-0974兵庫県西宮市社家町1-17
西宮神社内 TEL0798-33-0321

◇493 2009.4 B5 8p

平成21年度総会開催
えびすの社(9) 境外ひと廻り 平井 良朋
ちよっと昔の話(12)

古い商店街の話 楠井 都志
伊勢参宮本街道を歩く(33) 吉井 貞俊
平成版東海道五拾三次 吉井 貞俊

◇494 2009.5 B5 8p

平成21年度総会開催
平成版東海道五拾三次 吉井 貞俊

◆播磨学紀要 播磨学研究所

〒670-8524兵庫県姫路市上大野7-2-1
姫路獨協大学播磨総合研究所内
TEL079-223-2301 年2000円

◇14 2009.4 B5 211p 700円

研究 山野部村の一年 宮原 文隆
翻刻 室津惣会所文書
たつの市御津町「やさしい古文書教室」

◆歴史と神戸 神戸史学会

〒657-0845神戸市灘区岩屋中町3-1-4 田中
印刷出版内 TEL078-871-0555 年3000円
◇273 (48-2) 2009.4 A5 48p 600円

《特集 市民と学ぶ県立博物館》
兵庫県立考古博物館の目指すもの
—博物館と市民の新しい関係 高瀬 一嘉
兵庫県立考古博物館のリニューアルについて 神戸 佳文

「ひょうご歴史文化フォーラム」
入会のいざない フォーラム事務局
聞き書き ありし日のまちと暮ら
し(29) 尼崎から消えた牛たち
(1) 井上眞理子

史人の道草つづり書き 青山幸利
尼崎の殿様と逆落し故事 渋谷 武弘
兵庫の戦後モダンズム建築(6)
戦没学徒記念若人の広場 笠原 一人
私のこの一冊(3)

阪神観—「間」の文化快楽 玉木 雄三
ボクラ少国民 羽間美智子

◆うんてい 奈良県立図書情報館報

〒630-8135奈良市大安寺西1-1000
TEL0742-34-2111

◇1 2008.11 A4 8p

巻頭のことば 本との再会 千田 稔
図書情報館の資料展示 井上はるみ
図書情報館の公文書館機能につい
て 鈴木 陽生

戦争体験文庫資料展示紹介 「若
シ戦死ノ公報が有ツタ時開封シ
テ下サイ」—出征兵が残した手
紙 戸塚 順子

奈良のもの・ひと(1)
関西鉄道の路線延長と大仏線 森川 博之
図書情報館で調べる

レファレンス事例紹介
一般資料から 八雲琴はどんな
ものか知りたい。できれば写
真も見たい。 松村 順子
地域資料から 大和郡山市の過
去(特に明治時代)の水害記録
が記載されている資料はない
か。 上田 壽恵

図書情報館イベント揭示板

◆日本文化史研究 日本文化史学会

〒631-8501奈良市帝塚山7-1-1 帝塚山大学
奈良学総合文化研究所 TEL0742-48-8842

◇40 2009.3 A5 157p

中世後期における大乗院奉公人の
葬祭儀礼 赤田 光男
紀州奥日高における屋敷付属の祭
祀特権と氏神祭祀—特に本屋
敷・役屋敷・弓屋敷をめぐる祭
祀特権 裏 直記
大和高田八幡宮の楽頭職の変遷と
神事能の展開 高田 照世
博伝にみる葛城地域の様相

—忍海を中心として 甲斐 弓子
古染付「型物向付」と「型物香合」
—型打ち成形による器種を中心
に 中路のぶ代
富士峯修行関係史料の紹介 大高 康正
奈良阿字万字町「記録」三につい
て 安彦 勘吾

◆国際熊野学会会報

〒647-8555和歌山県新宮市春日1-1
新宮市役所商工観光課 山本殖生
TEL0735-23-3333

◇11 2009.4 B5 4p

近代文学と熊野・新宮
—今年度の大会に寄せて 辻本 雄一

◆和歌山城郭研究 和歌山城郭調査研究会

〒641-0052和歌山市東高松3-6-16
白石博則方 TEL073-445-0122
◇8 2009.3 B5 174p 1000円

和城研歴史散歩シリーズ 和歌山
城下町を歩く(3)—追廻門から
西へ 頼宣公隠居所／正住寺／
七曲市場／湊城跡／湊築地跡

特集Ⅰ 紀の川市北部・かつらぎ
町(旧花園村)の城館跡 根来
寺・粉河寺・春日山城跡・古和
田城跡・笠松城跡

関連論文 古和田城と岸和田城
—地名からのアプローチ 田中 伸幸

特集Ⅱ 和歌山城をめぐる
紀州御殿に関する一考察 高田 徹
和歌山城天守図にみる建築構成

松岡 利郎
和歌山城の石垣について 堀口 健武
紀州徳川家「山口御殿」につい

ての私見 水島 大二
「尊王派」としての玉置一族 紀

州日高河上莊手取城主玉置氏に
関する基礎的文献よりの考察
(6) 谷口 敏雄
寺院による築城行為について 藤岡 英礼

中国・四国

◆郷土石見 石見郷土研究懇話会
〒697-0034島根県浜田市相生町2139-15
児島俊平方 TEL0855-22-2567
◇80 2009.4 A5 149p 1200円
「石見銀山」研究者の足跡を偲ぶ
(5)―『郷土石見』の先人たち 竹内 幸夫
柿本人麻呂終焉地に関する一考察
―江津市二宮町説と浜田市亀山
説 神 英雄
「鏡山事件」の不思議(下) 岩町 功
中世・益田の風景、山寺図 宮本 巖
石見の民話(5)
―フィールド・ノートから 田中 瑩一
旧周布村の百姓一揆(1) 肥後 敏雄
秦佐八郎博士没後70年目の記念事
業 児高 房夫
古代波根の幻像(3)
―物部降臨伝承から読み解く 長澤 哲夫
斉藤茂吉の人麻呂終焉地
―わが町の碑 福島 脩二
陽だまりの風景 坂本 文江
座右銘 肥後 敏雄
百姓ばあさんの独りごと(3) 大矢 幸子
霊園まで 佐々木徳次
江の川風土記(12)
―太平洋戦争の時代(4) 森脇 勝弘
『郷土石見』総目次―ジャンル別
「郷土石見文化賞」年度別受賞者
一覧／「郷土石見」年次大会開
催地記録

◆宇喜多家史談会会報
〒700-0826岡山市磨屋町6-28 光珍寺内
TEL086-222-2028 年2000円
◇30 2009.4 A4 10p
豪姫と謎のふり姫 柴田 一
宇喜多氏古伝と三宅氏由緒を考え
る(2) 矢吹 壽年
キリシタン大名 明石掃部頭全登
(上の1) 市川 俊介
本多政重の仕官 大西 泰正
物語直家記伝 山重十五郎
平成21年度宇喜多史談会総会報告
石渡 隆純

◆岡山地方史研究 岡山地方史研究会
〒704-8113岡山市西大寺2-6-36 村上岳方
TEL086-942-6156 年1500円
homepage3.nifty.com/okayama-chiho/chiho/c-main.htm
◇117 2009.4 B5 42p
「御後園諸事留帳」に見える池田
岑次郎の御後園利用について 内池 昭子
窪田家資料の日食・月食観測記録
について―片山金弥と窪田善之
介の天体観測 藤田 則之
史料紹介 備中国後月郡下出部村
の捨て子 沢山美果子
書評 ひろたまさき著『差別から
みる日本の歴史』を読む 井久保伊登子
参加記 歴史シンポジウム「岡山
県古代・中世史研究の最新線」加栗 貴夫
博物館・展示会めぐり
二つの地図展を見る 古市 秀治

◆岡山藩研究 岡山藩研究会
〒169-0051東京都新宿区西早稲田
早稲田大学文学部 紙屋研究室内
www.waseda.jp/assoc-okayamahan/
◇59 2009.4 B5 22p

〈第27回全体会の記録〉
講演録 藩政史研究の回顧と展望
藤野 保
討論要旨
参加記 藤野保氏の報告を聞いて
渡辺 尚志
「藩政史研究の回顧と展望」を聞
いて 泉 正人

◆芸備地方史研究 芸備地方史研究会
〒739-8522広島県東広島市鏡山1-2-3 広島
大学大学院文学研究科日本史学研究室内
TEL082-424-6643 年3000円
◇265 2009.4 A5 38p
菊間瓦に関する一考察(下) 福原 茂樹
動向 鈴峯オープンカレッジの記
録／新聞記事から／旧広島大学
理学部一号館に自然史博物館の
設置を求める要望書の提出なら
びに陳情について／広島県の地
方史研究
芸備掲示板
開館30周年記念 平成21年度春
の特別企画展「弥生の都・吉
野ヶ里遺跡」 広島県立歴史民俗資料館
広島県立文書館収蔵文書展「江
戸・明治 商家文書の世界―
広島県立文書館の収蔵文書か
ら―」 広島県立文書館
開館20周年企画展「神・人・財
―広島県の神社の至宝―」
広島県立歴史博物館
史跡をあるく 三翁神社

彙 報
松岡久人先生の御逝去を悼む 岸田 裕之

◆備陽史探訪 備陽史探訪の会
〒720-0824広島県福山市多治米町5-19-8

TEL084-953-6215
◇147 2009.4 A4 12p
赤城と太田垣氏 田口 義之
東海道五十三次ゆったり歩き紀行
平成14年10月23日スタート！ 岡田宏一郎
西播磨を訪ねて 根岸 尚克
日本の桜あれこれ 藤井 保夫
牧野島兵庫守の墓 小林 定市
それからの水野氏 後藤 匡史
歴史民俗研究部会活動報告 種本 実
城郭研究部会近況 藤波平次郎
感状山城跡をめぐって 内樋 三三

◆広島土史研究会会報
〒737-0112広島県呉市広古新開2-1-4
呉市広公民館内 TEL0823-71-0706
◇91 2009.5 A4 24p
広村二級峡大瀧 広島水力電気株
式会社設立時の発電設備 上河内良平
「浦島測量之図」(第5次伊能測量
隊)に見る200年前の広・阿賀(試
論) 井垣 武久
曾祖父 藤田譲夫広村長と藤田家
の思い出 藤田 正夫
藤田家文書 第Q章
藤田正夫氏所蔵文書(Q-15) 小栗 康治
古文書部会の報告・例会報告 吉田 顕治

◆わが町三原 みはら歴史と観光の会
〒723-0062広島県三原市本町1-9-27
TEL0848-62-2935
◇217 2009.4 B5 12p
今月の各地
4月(卯月)の事はじめ 行長 啓三
井上春忠とその後(完結編) 大谷 和弘
干支と年号、あれこれ 正田 公佑
トンネルが拓いた給・排水路(3) 鈴木 健次
◇218 2009.5 B5 12p

今月の各地 かなしみの出雲路 恵木 慧
さくら咲く佐木島へようこそ!! 吉田千津子
春のハイキングに参加して 出雲泰枝子
春のハイキング「佐木島探訪」に
参加して 大本 静人
トンネルが拓いた給・排水路（完
結編） 鈴木 健次

◆百日紅 長谷寺かわら版
〒772-0004徳島県鳴門市撫養町木津1037-1
TEL088-686-2450 www.chokokuji.jp
◇71 2008.11 A4 4p
過去帳の話(1) 仮過去帳
◇72 2009.1 A4 4p
過去帳の話(2) 本過去帳と新過去帳
◇73 2009.4 A4 4p
過去帳の話(3) 長谷寺の過去帳群

◆史窓 徳島地方史研究会
〒779-3233徳島県名西郡石井町石井字石井
1071 金原祐樹方 TEL088-674-2806
◇39 2009.3 A5 95p 1500円
博物館と歴史研究の関係史をめぐ
る覚書—1945年以前における四
国の博物館史から 長谷川賢二
名東郡早瀬村組頭庄屋後藤家文書
中の地方絵図について 羽山 久男
史窓のひろば
よみがえれ阿波の歴史家、その
後 鳥居龍蔵と徳島 石尾 和仁
四国地域史研究連絡協議会 四
国地域史研究連絡協議会の発
足によせて 石尾 和仁
第31回公開研究大会 海から見
直す阿波の歴史—生業の視点
から
徳島県地方史研究文献目録（2007
年10月～2008年9月）

◆新居浜史談 新居浜郷土史談会
〒792-0023愛媛県新居浜市繁本町8-65
新居浜市生涯学習センター内
TEL0897-33-2991
◇375 2009.4 A5 40p 500円
寂光庵大師堂 宝篋印塔について 真木 孝
瑞應寺・住友別家「泉屋」名の墓
標調査 別子銅山・開坑初期の
功労者の事績 曾我 幸弘
詩集「冬耕」
村尾和久さんの発刊に寄せて 芥川 三平
四阪島(2)—操業時の煙害問題 藤田 二郎
私の歩んだ教育(2)
—回想と学校沿革 千葉 富雄
語り伝えて(敬老の零れ話) 小野 清恒
「御用留帳」摘抄録(6)—明治3・4
年 大生院村 高橋家文書 喜代吉榮徳

◆秦史談 秦史談会
〒780-0023高知市東秦泉寺283
松本紀郎方 TEL088-875-6671
◇151 2009.5 B5 50p
天皇陛下と語る 広谷喜十郎
海に生きた男 山本華与子
空海と書道(2) 笹原 保博
九反田界限 藤本 知子
水兵の母 毛利 俊男
土佐弁タイム(『高知新聞』から)
異色の学者 岡本寧浦 広谷喜十郎
民権ばあさん物語「馬とはちきん
さん」(1) ばくは馬 久米生太子／藤本知子
大河ドラマ「龍馬伝」を前に
龍馬と岩崎弥太郎(2) 岩崎 義郎
秦の昔話(18)
「虫送り」(東谷の巻) 永野美智子
チエリ抄(4) 永国淳哉／藤本知子

大方の長泉寺歴史考 広谷喜十郎
「龍馬伝」もばっちり(『高知新聞』
より)
秦泉寺に住んだ歴史上の人びと
(4) 最終回 松本 紀郎
伝言板／郷土史記録し四半世紀
(『高知新聞』より))

『三谷・山の神の樹木』パンフから
イスノキと山の神 広谷喜十郎
岡村庄造氏拓本集から(13) 岡村 庄造
昭和の記憶(7) 中畑 中道

九州・沖縄

◆季刊 邪馬台国 梓書院
〒812-0044福岡市博多区千代3-2-1
麻生ハウス3階 TEL092-643-7075
◇101 2009.4 A5 267p 1300円
巻頭言 みずからのデータが、み
ずからを裏切っている
〈総力特集 歴博・炭素14年代論の大崩壊—
みずからのデータが、みずからを裏切っ
ている〉
展望 国立歴史民俗博物館の炭素
14年代測定論は、崩壊している 安本 美典
弥生人骨を用いたAMS年代測定
(予察) 田中良之／溝口孝司／
岩永省三／Tom Higham
歴博プロジェクト『弥生農耕起源』
について—炭素14年による年代
週上論の問題点 新井 宏
年代測定値への疑問 西田 茂
炭素14年代法と邪馬台国論争—年
輪年代法との連動を通して 鷲崎 弘朋
木材年輪年代をめぐる—基準パ
ターンと照合ミスの確率 新井 宏
年輪年代法と弥生中・後期の暦年
代 山口 順久

日韓観光交流記念「邪馬台国と
伽羅の国セミナー」開催によせ
て 邪馬台国と伽羅の国々 奥野 正男
古墳の周濠 沼野 英久
九州古代紀行(4)
宇佐神宮を往く 加藤 哲也

◆研究所情報 長崎人権研究所
〒850-0048長崎市上銭座町2-7
TEL095-847-8690 年5000円
homepage3.nifty.com/naga-humanrights/
◇48 2009.3 A4 4p
部落問題の今 08年度第5回部落
解放学習会
「対馬宗家文書」の解説を試みて 山下 信哉
「もやい」57・58合併号の紹介／全
国部落史研究会が発足しました

◆年報 太宰府学 太宰府市市史資料室
〒818-0132福岡県太宰府市国分4-9-1 太宰
府市文化ふれあい館内 TEL092-921-2322
dasaifu.mma.co.jp
◇3 2009.3 A4 78p
九州に於ける六所宝塔の建立をめ
ぐって 森 弘子
蒙古軍供養塔除幕式問題の再検討
—拙稿「高鍋日統と大陸山水城
院」の補遺として 藤岡健太郎
斎然・清涼寺・清涼寺式釈迦像関
係文献目録 川添昭二／森哲也
市史資料室所蔵資料目録(1)
有吉家文書目録
有吉林之助さんのご逝去を悼む 重松 敏美

◆福岡県地域史研究
〈助西日本文化協会 福岡県地域史研究所
〒810-0004福岡市中央区渡辺通2-1-82
電気ビル第一別館5階 TEL092-713-6451

www.chiikishi.jp
 ◇25 2009.3 A5 88p
 フロイス『日本史』にみえる戸次
 道雪と秋月種実 桑田 和明
 近世前期筑前における触口・庄屋
 の同族と家従属者—志摩郡板持
 村朱雀家について 秀村 選三
 秋月の乱口供書について 田村 貞雄
 聞書 山林地主家(福岡県)へ嫁い
 できた女性達—「ねんねんばば
 しゃま」の明治・大正・昭和 山口 信枝

◆福岡県地域史研究所 県史だより
 (財)西日本文化協会 福岡県地域史研究所
 〒810-0004福岡市中央区渡辺通2-1-82
 電気ビル第一別館5階 TEL092-713-6451
 www.chiikishi.jp
 ◇127・128 2009.3 B5 8p
 《福岡県地域史研究所所蔵公文書特集号》
 福岡県の公文書と地域史研究所所
 蔵の公文書 東定 宣昌
 明治・大正期の公文書
 —郡役所とその史料を中心に 草野 真樹

◆九州民俗学 九州民俗学会
 〒880-8520宮崎市船塚1-1-2 宮崎公立大学
 民俗学研究室 TEL0985-20-2000 年2000円
 www9.plala.or.jp/kyushu-folklore/
 ◇5 2009.3 A5 137p
 松浦さよ姫の基礎的研究—中世～
 近世・肥前国松浦郡編 近藤 直也

◆みやざき民俗 宮崎県民俗学会
 〒880-0924宮崎市東宮1-321 前田博仁方
 TEL0985-56-2450 年3000円 1955年創刊
 www.hoops.ne.jp/~mminzoku/
 ◇61 2009.2 B5 124p 2000円
 新しい課題に向かって 原田 解

〈特集 宮崎を訪れた人々〉
 柳田國男の紀行文(下) 亀澤 克憲
 柳田國男椎葉村100年
 —その足跡と動機を探る 黒木 勝実
 陰流創始者「愛洲移香斎」 崎田 一郎
 〈特集 海・山・里・川の民俗〉
 海辺の獵師—海と山のはざままで 渡邊 一弘
 〈シリーズ
 21世紀に語り継ぐ地域の民俗文化〉
 鎮守の杜に響く笛太鼓が語りかけ
 るもの 押川 周弘
 巨石信仰から見える乳岩 谷口実智代
 日向国における伊勢御師御炊大夫 前田 博仁
 ひっそりと息づく神々—子どもと
 取り組む民俗誌(1) 西岡 洋三
 飫肥報恩寺址墓地調査報告
 鈴木常磐／村川勝也
 不撓不屈の人 山崎基明 首藤 光幸
 戦艦「大和」の最後を見届けた少
 年兵 湯浅 倉平
 佐土原びとの伝承
 —佐土原だんじり 那賀 教史

◆鹿児島民具 鹿児島民具学会
 〒897-0004鹿児島県南さつま市加世田内山
 田6278 G-101 井上賢一方 年2000円
 ◇21 2009.3 B5 86+6p
 〈西表島特集〉
 座談会 西表島節祭をめぐって
 下野敏見／濱田甫／米原正
 晃／牧島知子／井上賢一
 西表島祖納の節祭考—一人狂言と
 ミクリ神とアンガマ 下野 敏見
 沖縄県八重山群島(石垣島・西表
 島)で見た竹と利用 濱田 甫
 加治木のモノづくり 松田 誠
 手もみ茶(1) 牧島 知子

基石茶の作り方・使い方—四国山
 中大豊町の茶加工民具 井上 賢一
 枕崎のガランドンと隠れ念仏 徳留 秋輝
 シオヤ爺と若君の衣 下野 敏見
 例会発表要旨／学会記事
 年譜・会誌総目次

◆千 台 薩摩川内郷土史研究会
 〒895-0065鹿児島県薩摩川内市内宮内町2938
 -8 福元忠良方 TEL0996-25-1541
 ◇37 2009.3 A5 142p
 講演
 近世薩摩藩外交は薩摩川内から
 始まった 徳永 和喜
 薩摩国一宮制の特徴について 日隈 正守
 中世碇山城について
 —史料と現地調査から 吉本 明弘
 朝河博士と入来文書 入来院貞子
 樋脇町倉野の稲穂神社 江之口汎生
 西方町歴史探訪 現状その1 脇岡修一郎
 天辰寺前古墳について
 薩摩川内市教育委員会教育部文化課
 久保田盛諫「日記」から高城村分
 村事件の背景を探る 福元 忠良
 南さつま市・南九州市知覧町研修
 旅行 東 正巳
 7月例会 疑問と感動 桐原 洋
 飫肥・都城史跡探訪点描 濱田 宏
 都城・飫肥探訪旅行 餅原 正浩
 飫肥の散策五・七・五 右田 幸雄
 城上史跡めぐり 林 碩信
 表紙写真「甌島のトシドン」 濱田 宏
 裏表紙写真「岩屋観音と磨崖仏」 濱田 宏

◆地域・人間・科学
 鹿児島純心女子短期大学 江角学びの交流
 センター地域人間科学研究所 〒890-8525
 鹿児島市唐湊4-22-1 TEL099-253-2677

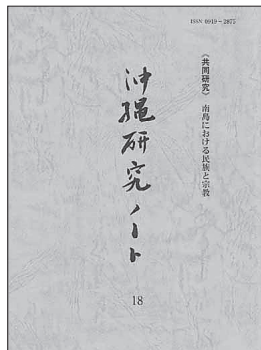
www.k-junshin.ac.jp/juntan/LHS/
 ◇12・13 2009.3 B5 158p
 地域人間科学研究所、生涯学習セ
 ンターおよび江角学びの交流セ
 ンター平成19・20年度の動向
 文化講演会
 農が生命文化の主役を担う
 —食・いのち・愛 星 寛治
 星寛治先生のご講演について 三浦 嘉久
 奄美における本土系民謡 小川 学夫
 大島高等女学校の創立・運営に携
 わった宣教師たちの横顔(1)—
 カリキスト・ジュリナ(帰化名):
 米川基)師 平山久美子
 こども学フィールドワークⅢにお
 ける「こども観」の育成 塚田まゆみ
 家政学における人間形成と文化の
 継承の役割—西郷隆盛・ベスタ
 ロッチの生き方の援用から
 東美穂／高田久美子
 論文指導実践・覚書 高田久美子
 〈報告特集 平成19年度国内研修・海外研修〉
 第28回現代ビジネスコース・第29
 回生活クリエイティブコース
 憧憬の旅・海外研修の実際 佐々木 澄
 生活ウエルネスコース
 海外研修報告 岩下美代子
 食物栄養専攻 ヨーロッパ食文化
 研修の旅報告 櫻井 真
 英語科 海外研修 河野 一典
 生活クリエイティブコース
 第1回服飾文化研修旅行 西之園君子
 見えるもの・見えないもの—愛犬
 ベーヌの昼寝 佐々木旦／佐々木恵子

◆アーカイブス 沖縄県公文書館だより
 〒901-1105沖縄県島尻郡南風原町新川148-
 3 TEL098-888-3875

archives.pref.okinawa.jp
 ◇36 2009.3 A4 8p
 この人にきました
 新城鐵太郎さん(3)
 新規公開資料紹介 ウィリアム・
 ジェンキンス資料公開／アーカイブズフラッシュ
 ある記者の眼 宮城悦二郎写真資料 その裏が面白い
 あの日の沖縄—琉球政府関係写真資料より
 閲覧室Q&A／事業報告／講演会
 表紙説明 一筆地調査図の簡易補修

◆沖縄研究ノート

共同研究—南島における民族と宗教
 宮城学院女子大学キリスト教文化研究所
 〒981-8557仙台市青葉区桜ヶ丘9-1-1
 TEL022-277-6210 www.mgu.ac.jp/~kiriken/
 ◇18 2009.3 B5 83p
 琉球処分研究を振り返る
 —1950年代～70年代を中心に 川畑 恵
 琉球処分研究史のナラティブ 割田 聖史
 米軍統治下沖縄におけるフィリピン人へのまなざし—戦後12年間
 の新聞記事をもとに 杉井 信
 中島敦の出发点 南へのまなざし



岩川 亮
 宮城県丸森町の共同売店「なんでもや」の現状と可能性について
 —沖縄本島北部の共同売店と比較しながら 土屋 純
 ＊琉球処分に関わる研究史を新しい視点から綿密に整理・分析した2点の論考が掲載されている。

川畑恵「琉球処分研究を振り返る」は、まず、琉球処分についての本格的な研究が開始されたのは戦後になってからであることは、史料的な制約などの理由はあるにせよ、琉球・沖縄の存在を軽視してきた日本の歴史学全体にかかわる問題であると指摘する。続いて、沖縄出身の芥川賞作家大城立裕の回想録を引いて、歴史用語としての琉球処分が1960年戦後まで使用されていなかったことを明らかにする。そして、琉球処分研究史の特徴の一つに、その時点の政治・社会情勢を反映し、それと研究は不即不離の関係にあったとし、1950年代から沖縄県再設置以降までを、研究者の問題意識に焦点を当てて整理し、60年代前半までは所属論的対外交渉問題として、それ以降は、琉球王府・藩の内面にまで立ち入った研究が主流になると述べる。

割田聖史「琉球処分研究史のナラティブ」は、研究論文には、その時期の特徴を映し出す歴史叙述の持つ特性を内包しているとの観点から、琉球処分の研究史における「語り」の諸相を検討・分析したものである。その結果、研究史は外交史への関心から始まり、戦後は民族問題との関連から、内政へ視野が広がったと指摘する。そして、「『歴史をおしすすめる原動力』である『人民』ではなく、『民衆』をくいかになぞるかということは、琉球処分史のみならず、歴史学全体の課題である。『民衆』を描くための言葉や方法を筆者自身がいかに得るかということも今後の課題とし

たい。」と結ばれている。
 双方とも琉球処分研究史の分析としてもさることながら、研究のあり方、及び研究者の姿勢への問題提起としても興味深い。

◆季刊 沖縄 (財)沖縄協会

〒112-0004東京都文京区後楽1-2-9
 エー・ゼットキューブビル5階
 TEL03-5803-2341
 homepage3.nifty.com/okinawakyoukai/
 ◇36 (14・1・2) 2009.4 A4 60p 300円
 沖縄の世界遺産の保存と活用 我那覇 念
 沖縄と私

沖縄で自然に沿った暮らしを 稲葉 耶季
 舞に秘められた琉球古手の奥義技

宮城 隼夫
 鑑真が来た阿児奈波島
 —沖縄島に寄港した遣唐使船 小島 環禮
 第30回沖縄研究奨励賞
 受賞記念講演

沖縄の水産増養殖の未来 與世田兼三
 貝塚時代後期前半(弥生時代～
 古墳時代)の交易と社会 新里 貴之
 米軍基地と地位協定 明田川 融
 沖縄協会だより／沖縄覚書

◆宮古郷土史研究会会報

〒906-0007沖縄県宮古島市平良字東仲宗根
 42 県立図書館宮古分館内
 TEL09807-2-2317

◇172 2009.5 B5 8p
 5月定例会レジュメ 薩摩藩の琉球侵略400年—王府末期の疑獄事件等について 下地 和宏
 6月定例会レジュメ 伊波普猷著「琉球人種論」を読んで 仲宗根将二
 3月定例会のあらまし 戦後宮古の文化活動—社会教育・文化施

設を中心に 砂川 幸夫
 第30回定期総会開かれる
 —宮古郷土史研究会 砂川 幸夫
 「金の成る木 六十年の歩み」狩
 俣購買組合創立60周年記念誌／
 “平和と憲法を語るつどい”カ
 ママ嶺公園で「みやこ九条の
 会」 仲宗根将二
 開館20周年記念宮古島市総合博物
 館 第10回企画展よみがえる島
 のわざ—往にし方の宮古上布—
 展によせて 砂川 猛
 『友情は時を越えて』鐘原中五期
 生の「73歳」生年記念誌／沖縄
 の「ンキャンバナナス」 宮沢
 貞子さんが「怪談編」を出版 仲宗根将二
 大いなる遺産シリーズ「あららが
 まの島 宮古の歴史」 仲宗根将二

寄贈図書紹介

◆石巻市梨木畑貝塚出土資料

東北文化資料叢書4 縄文土器基準資料
 東北大学大学院文学研究科 東北文化研究室
 (〒980-8576 仙台市青葉区川内27-1) 2009
 年3月 A4 78頁
 1963年に東北大学文学部考古学研究室が実施
 した宮城県石巻市渡波梨木畑貝塚の発掘調査
 で出土した遺物のうち、縄文時代早期後葉の
 土器群を中心とした資料報告。なお、本書で
 紹介した梨木畑貝塚出土土器は、東北大学大
 学院文学研究科考古陳列館・同考古学標本室
 に保管されている。遺跡と調査の概観／梨木
 畑貝塚出土土器に関する研究略史／出土資料
 (層位的出土状況、型式学的内容)／本出土資
 料から見た「梨木畑式」／まとめ

◆消えゆく昭和の記録

秋田県美郷町文化財保護協会編・刊 2009年
 4月 A5 282頁

町民から寄せられた昭和の初めから30年頃までの思い出や出来事、体験記等50編で綴る美郷町の昭和史。

発刊にあたって(森本彌吉)／お祝いのことば
通った道と通る道(松田知己)

〔昭和の世相、風俗〕「もらい風呂の頃」・「ヤミヤギ」(加藤義男)／選挙という昔物語(阿倍莞爾)／隣のオドへ召集令状(岩田貞)／結婚式と金婚式(佐藤日出男)／結婚風習(伊藤清一)／ドブクロの取締り(久米純次郎)／密造酒(照井文雄)／「どぶろく」小話あれこれ(江畑純一郎)／戦時下に過ごした日々(高橋ティ)／戦時下の女学生生活(高橋禮子)／女学生生活(森川京子)／敗戦直後の中学生生活(宇佐美晃一)／国民学校最後の入学生(照井倫子)／国民学校の思い出(進藤晃成)／ヤミ米摘発に怯えながらも(江畑純一郎)／苦しみ超えた昭和(加藤幸子)／昭和の思い出(金子貞子)／我が家の農機具利用(米沢利一)／昔からの過程の医学(佐々木謙蔵)／戦時下の「物不足と代用品」から(小松昭雄)／昔の暮らしの知恵や身繕い(齊藤克巳)

〔昭和の懐しの風物詩〕故郷の追憶(久米純一郎)／今と昔を比較して思うこと(久米誠二)／昔の「仕来り」など(森川美智男)／子供の頃の思い出(佐藤日出男)／楽しかった小、中学校時代の遊び(福島敬志)／心豊かに育てられた小学校時代(月輪妙子)／子供の頃の楽しいあそび(龍輪恵子)／子供の目から見た昭和(木村千代成)／子供の頃の追憶(齊藤克巳)／子供の仕事(松塚光雄)／冬の遊び(森川京子)／乗り合い馬糞「トトビー」(鈴木勝蔵)／素人演芸会(佐藤怜之助)／体長三センチメートルの使者(江畑賢次)／思い出の「道」と「ことば」(藤井博)／山とわたし(藤澤淳)／巖崎の森(又井竜介)／鎮守の杜の祭(富樫義雄)／運搬具の思い出(森本彌吉)

〔昭和の忘れ得ぬできごと〕千屋小学校の火

災(齊藤忠治)／飯詰国民学校雨天体操場の倒壊(鈴木勝蔵)／昭和二十年冬の出来事から(高橋恒二)／戦争の疵痕(渋谷澄子)／あっ！飛行機が(高橋悦史)／仙南村民歌入選余話(高橋禮子)

〔昭和の証言〕青春に賭けた満蒙・北支の想い出(石田純一氏の遺稿から)／嗚呼 幻の飛行場(伝野勇氏の著作から)／恩賜の「郷倉」(伊藤清一)／稲作とその周辺(齊藤克巳)／大正・昭和の年表／参考にした図書／美郷町文化財保護協会名簿／あとがき

◆国際シンポジウム「世界の被災都市は空襲をどう伝えてきたのか—ゲルニカ・重慶・東京の博物館における展示／記憶継承活動の現在—」報告書

(財)政治経済研究所付属東京大空襲・戦災センター戦争災害研究室編・刊(〒136-0073 東京都江東区北砂1-5-4 TEL03-5857-5631) 2009年3月 A4 84頁

2008年10月11日に開催された東京大空襲・戦災センター戦争災害研究室主催の第2回シンポジウムの報告書。開会挨拶(早乙女勝元)／なぜこのシンポジウムが企画されたのか—その狙いと背景(吉田裕)／ゲルニカ・恐怖の体験(イラッチェ・モイシヨ)／重慶無差別爆撃の証言—オーラルヒストリーからみた日本軍の都市爆撃や住民虐殺の戦争犯罪(李金栄)／日本の「平和のための博物館」における空襲研究と展示の歴史と現状(山辺昌彦)／戦争を後世に伝える—ヨーロッパの2つの街コベントリーとドレスデンの体験談(アンドリュ・リグビー)／重慶無差別爆撃が外国大使館・領事館及びその他の中国駐在機構に与えた傷害状況についての初歩的研研究(馮慶豪)／コメント(前田哲男)／討論・質疑応答の概要

◆第3回無形民俗文化財研究協議会報告書
無形民俗文化財に関わるモノの保護

東京文化財研究所無形文化遺産部編・刊(〒110-8713 東京都台東区上野公園13-43 TEL03-3823-4925) 2009年3月 A4 126頁

2008年11月20日に開催された第3回無形民俗文化財研究協議会の内容をまとめる。序にかえて／趣旨説明(俵木悟)／年中行事における飾り物継承の諸問題—七夕馬とツクリモノ(服部比呂美)／西塩子の回り舞台の復活と活用(石井聖子)／長浜曳山祭における曳山の保存と修復について(橋本章)／江名子パンドリの製作技術の材料確保、保護するための取り組み(田中彰・保木隆)／総合討議／参考資料／アンケート集計結果／あとがき

◆回想の湘南 昭和史50選

藤沢市史ブックレット1
(続)藤沢市史編さん委員会編 藤沢市文書館(〒251-0054 神奈川県藤沢市朝日町12-6 TEL0466-24-0171) 2009年3月 A5 173頁
(続)藤沢市史編纂にあたって市史の内容をわかりやすく紹介するブックレットの第1冊。1920年から1996年まで、昭和という時代のなかで記憶に残る事件や出来事50項目を年月を追って紹介する。昭和の原点 1920年～1945年／占領から高度成長へ 1946年～1964年／市民と市政 1965年～1996年

◆渋江公昭家文書目録(三)

神奈川大学歴史調査報告8
田上繁編 神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科(〒221-8686 横浜市神奈川区六角橋3-27-1 TEL045-481-5661) 2009年3月 A4 527頁

2000年から始まった「九州のカミ観念と信仰の歴史民俗的比較研究—河童を中心として」研究班による熊本県菊池市水源の天地元水神社宮司 渋江家文書の調査報告・目録第3集(完結)として、天地元水神社所蔵分の資料目録とともに71点の文書を翻刻・収録する。築かれた「河童＝水神研究」の歴史民俗資料学

的研究の基盤—『渋江公昭家文書目録(三)』刊行の意義(小馬徹)／文書目録／文書翻刻／『渋江公昭家文書目録(天地元水神社収蔵分)』(三)の作成・編集にあたって(田上繁)

◆自由民権運動と府川謙斎

ある盲人民権家の生涯

木下密運編 法蔵館(〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入 TEL075-343-5656) 2006年12月 B6 186頁 2000円

相模国平塚出身の自由民権家で、神奈川そして土佐で活躍した府川謙斎の生涯を多数の資料とともに紹介する。府川謙斎の生涯(木下密運)／府川謙斎と自由民権運動(山本憲太郎)／資料(府川憲斎関連資料、府川憲斎と自由民権運動関連資料、府川憲斎関連新聞記事)／府川憲斎年譜／府川憲斎関連地図

◆藤沢山日鑑27

藤沢市文書館編・刊(〒251-0054 神奈川県藤沢市朝日町12-6 TEL0466-24-0171) 2009年3月 A5 453頁 3500円
遊行寺宝物館所蔵の清浄光寺伝来記録『藤沢山日鑑』翻刻版27巻である。本書には元治2年(1865)、慶応2年(1866)、明治2年(1869)の三年分を収録する。日鑑(元治2年正月)／日鑑(慶応2年正月)／日鑑(明治2年正月)／解説 明治維新と清浄光寺(高野修)

◆直江兼続 史跡探訪

花ヶ前盛明著 新潟日報事業社(〒951-8131 新潟市中央区白山浦2-645-54 TEL025-233-2100) 2009年5月 A5 130頁 1800円
直江兼続生誕の地の越後から歴史が色濃く残る米沢を中心に、会津若松、魚津など、ゆかりの主な史跡をわかりやすく紹介するカラーガイド。直江兼続の生涯／新潟県(上越、中越、下越、佐渡)／山形県(米沢)／福島県／富山県／直江兼続をめぐる人々／戦国時代のおもな城館跡／系図／直江兼続略年譜／史跡マップ

◆新修名古屋市史 資料編 近代2

新修名古屋市史編集委員会編 名古屋市（〒461-0011 名古屋市中区白壁1-3 名古屋市政資料館 TEL052-953-0051）2009年3月 B5 943頁

『新修名古屋市史』本文編全10巻完結（2001年10月）をうけて刊行が開始された資料編の近代編として、第1回「近代1」（2006年3月）につづき日露戦争後から昭和恐慌までを収録。〔近代都市名古屋の発展〕都市計画構想と市域拡張の実施／都市経営の展開と市政／工業の拡大と市民生活
〔百万都市への成長〕名古屋都市計画の実施／「大名古屋」の市政／工業都市名古屋の成立と市民生活

◆新修名古屋市史 資料編 民俗

新修名古屋市史編集委員会編 名古屋市（同上）2009年3月 B5 954頁
〔祭礼資料編〕総説 名古屋城下と宮宿の山車祭り文化—都市祭礼と祭礼図／祭礼図／東照宮祭／熱田天王祭

〔民俗調査資料編〕自然／社会生活／生産／商工業／衣生活／食生活／住居／人の一生／年中行事／信仰

◆収蔵資料調査報告書11

宇治市の写真資料1
宇治市歴史資料館編・刊（〒611-0023 京都

府宇治市折居台1-1 TEL0774-39-9260）2009年3月 B5 63頁

昭和59年（1984）の開館以来収集してきた資料のうち、宇治市広報課の撮影による歴史的写真フィルムを紹介。宇治市の写真資料について／宇治市広報課撮影フィルム目録／資料紹介 写真でみる昭和28年から47年の宇治市

◆九州の民俗芸能 海と山と里と交流の展開の諸相 みやざき文庫62 九州民俗学叢書3 永松敦著 鉱脈社（〒880-8551 宮崎市田代町263 TEL0985-25-1758）2009年4月 B6 227頁 2000円

九州各県の特徴ある民俗芸能を紹介し、九州全体の交流と展開を跡づける。福岡県の民俗芸能（中世芸能の残影、神楽、風流、獅子舞、傀儡子舞、盲僧芸能）／佐賀県の民俗芸能（神楽・与賀神社の命婦舞、佐賀の風流芸能—浮立、荒踊り、御田舞、仏教芸能）／長崎県の民俗芸能（神楽、風流、神相撲）／熊本県の民俗芸能（神楽、風流、御田祭）／大分県の民俗芸能（神楽、風流、仏教芸能、古要神社の傀儡子舞、日吉神社の山人祭り）／宮崎県の民俗芸能（山間部の夜神楽、宮崎平野部の昼神楽、風流、田遊び、十五夜行事、盲僧）／鹿児島県の民俗芸能（神舞、風流、柴祭り、奄美大島の八月踊り）／九州からアジアへ（十五夜芸能、九州の来訪神）／参考文献

◆後記

先ず始めにお詫びを申し上げます。本誌前号（094）の後記は、2009年9月末に入院中のベッドで書いたものです。発行が12月末であったため、正月明けに岩田書院及び自宅に何人もの方からお問い合わせをいただきました。術後の経過は良好で、10月半ばから社会復帰しています。執筆日を入れるべきであったと反省し、ご心配いただきました皆様には厚く御礼申し上げます。同じく昨年暮、『地方史文献年鑑2007』をようやく刊行することができました。創刊以来常に1年余の遅れで来ましたが、今回は2年遅れになってしまいました。このタイムラグを解消するため、岩田社長の英断で、本年は2008年版と2009年版を同時刊行する計画を立てています。岩田書院の経営に大きなダメージを与えることにははしなないと、内心不安でもあります。資料のご提供はもとより、販売にも一層のご協力をお願い申し上げる次第です。（飯澤）

地方史情報 095 2010年（平成22年）2月 発行 <http://www.iwata-shoin.co.jp>
定価0円（送料90円）年間購読料 税込1000円（送料として）振替口座00100-2-564137
発行所：岩田書院 〒157-0062 東京都世田谷区南烏山4-25-6-103 TEL03-3326-3757